

令和6年3月予算審査特別委員会

令和6年3月12日（火曜日）

◎ 出欠席委員氏名

石 垣 光 洋 委員長

東 海 林 信 弘 副委員長

出席委員（12名）

1 番 安 達 智 勇 委員	2 番 漆 山 光 春 委員	3 番 安孫子 真 弥 委員
4 番 東海林 信 弘 委員	5 番 石 垣 光 洋 委員	6 番 増 川 憲 一 委員
7 番 木 村 章 一 委員	9 番 鈴 木 英 友 委員	10 番 林 智 委員
11 番 奥 山 英 幸 委員	12 番 吉 田 芳 美 委員	14 番 細 矢 誓 子 委員

欠席委員（1名）

8 番 佐 藤 修 二 委員

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

田 川 美和子 事務局 長

鈴 木 淳 子 主 幹

須 藤 隆 一 議 事 係 長

嶋 田 愛 主 査

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森 谷 俊 雄 町 長

河 内 耕 治 副 町 長

板 坂 憲 助 教 育 長

真 木 吉 雄 監 査 委 員

須 藤 俊 一 防災・危機管理監兼
総 務 課 長

真 木 秀 章 防災危機管理課長

日 塔 俊 浩 空き家対策主幹

牧 野 隆 博 政策推進監兼
企画財政課長

佐 藤 晃 一 まちづくり推進課長

今 田 史 明 生活環境企画主幹

今 部 憲 治 税 務 町 民 課 長

矢 作 勲 健 康 福 祉 課 長

池 田 恵 子 子育て支援主幹

宇 野 勝 農林振興課長併
農業委員会事務局長

軽 部 広 文 商工観光課長

土 方 一 郎 都 市 整 備 課 長

大 泉 正 博 上 下 水 道 課 長

軽 部 昭 博 会 計 管 理 者 兼
会 計 課 長

秋 場 弘 昭 学 校 教 育 課 長

日下部 敦 子 生涯学習課長

鈴木 淳 子 監査委員事務局長

庄 司 祐 一

総務課長補佐兼
働き方改革推進係長

丹 野 晋 尚 企画財政課長補佐兼
財 政 係 長

◎ 委 員 会 日 程

令和6年3月12日（火） 午前9時開議

委員会日程第2号

日程第1 付託案件の審査、採決

議第10号 令和6年度河北町一般会計予算について

延 会

◎ 本日の会議に付した事件

委員会日程第2号のとおり

◎ 開 議

午前9時

○石垣委員長 おはようございます。

本日の欠席通告委員は8番佐藤修二委員であります。

ただいまの出席委員数は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の委員会日程は、お手元に配付のとおりであります。

○石垣委員長 日程第1、付託案件の審査、採決を行います。

議第10号令和6年度河北町一般会計予算についての質疑を続けます。

委員長から申し上げます。質疑の際は、最初にページ、款項目節を示して、質疑の内容を簡潔明瞭にお願いします。また、答弁する側も簡潔明瞭に答弁をお願いします。

令和6年度河北町一般会計予算の歳出の1款議会費から4款衛生費までの質疑を行います。

それでは「1番安達智勇委員」

○安達委員 よろしくお願ひします。

予算書の74ページ、75ページ、4款1項3目環境衛生費の中の3、環境衛生対策費についてです。その河北町猫の不妊去勢手術費補助金について教えてください。

令和4年度の決算書を見ると、補助件数が、不妊手術44件、去勢手術24件、合計68件で46万7,800円の補助となっておりますが、令和6年度の予算では55万円の計上になっております。この理由について教えてください。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 おはようございます。

4款1項3目の環境衛生費の環境衛生対策費になります。この不妊去勢手術費補助金になります。令和4年度につきましては、先ほど議員の方がおっしゃいましたように68件ありまして、その中で、飼い猫については36件、飼い主のいない猫については32件の合計68件でした。これについて令和5年度も申し上げますと、1月末時点ですけれども、飼い猫の

ほうが29件、飼い主のいない猫のほうが35件、合計64件という件数になっております。1月末ですので、今からもう少し増えるということもあります。

件数的にかなり増えている状況ではあります。これについては、制度のほうが4年度から始まりまして、その周知ですかね、そちらのほうが浸透してきたというようなことで考えておるところであります。

以上です。

○石垣委員長 「1番安達智勇委員」

○安達委員 ありがとうございます。

この不妊手術、去勢手術、双方ですが、補助は幾らぐらいまで出るのでしょうか。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 実際の手術費ですが、それぞれ、雌の場合ですと1万2,000円とか2万円を超える手術のようです。雄については6,000円とか1万円とか超えるものもございます。それぞれの手術によってばらばらになっております。

補助額については、飼い猫の場合は手術に要した経費の3分の1、または、雌の場合は1万円、雄の場合は5,000円のいずれか低い額ということになっております。あと、飼い主のいない猫の場合は補助率違いまして、手術に要する額、または、雌の場合は1万円、雄の場合は5,000円のいずれか低い額という補助率ということになってございます。

○石垣委員長 「1番安達智勇委員」

○安達委員 ありがとうございます。

今ちょっとお話にもありましたが、飼い主のいない猫がいて少々困っているような状態とか、そういう状態のときは、そもそも通報先というか連絡先はどこになるのでしょうか。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 基本的になんですけれども、動物愛護の観点から、飼い主の分から

ない動物の捕獲というのはできないことになっております。また、保健所や役場で、飼い主の都合によって安易な引取りというのも原則受け付けないということになっております。

野良猫を見かけたという場合については、そっとしておくことが原則になりますけれども、ただし非常に弱っている猫がいたとか、そういった場合については、保健所に連絡して保護するということになってございます。

また、近所に多頭飼育とか野良猫がいっぱいで、家の中にふん尿がされるとか、困っているというようなことがあるかと思えます。そういった場合には役場に連絡していただくと、こちらのほうでこの原因者の方に訪問いたしまして、指導というか、行います。そして、この補助金があるということもお知らせして、これらを活用してほしいということで周知、指導をしているというところになります。

以上です。

○石垣委員長 「1番安達智勇委員」

○安達委員 ありがとうございます。

今お話いろいろいただきましたが、これらの内容の周知はどのような形で行っているのでしょうか。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 補助金の周知ですが、広報かほく、あとホームページのほうで周知しているところです。5年度については7月15日号の補助金についてのお知らせ、あと9月15日号に動物愛護週間というのがありますので、それらに合わせた形で犬とか猫を飼っている方への適切な飼い方についてのお知らせ、あと、もう一度補助金の周知ということで5年度にはやっているというところでございます。

○石垣委員長 「1番安達智勇委員」

○安達委員 ありがとうございます。

そうですね、ふん尿とかの迷惑行動というところもありますが、やはりこの制度がないと、事故とかで命を失うかわいそうな猫とかも出てきますので、この件よろしく願います。

以上で終わります。

○石垣委員長 以上で1番安達智勇委員の質疑を終わります。

次に、「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 よろしく願います。

74、75ページ、4款1項3目、説明の1番、生活環境総務費の中の河北町地方バス路線維持費補助金についてです。

先週の予算状況調査のときの説明では、寒河江駅河北病院線が4月から土曜日の便がなくなることにについて、谷地高の行事がある日などについては、山交バスと協議してバスを出してもらうようにするという話だったんですけども、現在の協議の状況と今後の見通しについて教えてください。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 4款1項3目の生活環境総務費の地方バス路線維持費補助金のものになります。

山交バスについては、6年の4月1日から土曜日の分が全便運休になると、減便になるということで山交のほうから来ております。広報にも、3月1日のほうにお知らせしたところですけども、減便になりますので、こちらについてやっぱり乗っている方もございます。あと通学の面で、谷地高の通学の便もありますので、こちらについては山交のほうとも協議とかしておまして、今現在、谷地高の土曜日の学校とかあるときなんですけれども、1回当たり幾らということで補助金ですね、町のほうから補助金が出ておまして、その補助金の中で対応してもらっているというところになっております。

山交のほうでも、土曜日については、谷地高が学校があるときに申請あれば、土曜日のバスは出すということで対応してくれるということで、確認はしているところでございます。

○石垣委員長 「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 谷地高の通学、土曜日がある日については協力してくれるということだったんですけども、その一方、河北町から山形に通う高校生もいるわけなんです。天気の良い時期であったり日であったりは、自転車で行ったり、または親から送迎してもらうという方もいらっしゃると思うんですけども、天気の悪い日、冬、雪が積もっている時期などについては、どのようにお考えだったでしょうか。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 いろんな通学の仕方があるかと思います。それについては、今のところ手だてというようなことは、ちょっとないことになるんですけども、今後、山交のほうとも検討をしていければと思っております。

○石垣委員長 「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 別の項目で公共交通の再構築についてということで予算計上されておりますけれども、河北町の弱点である公共交通がますます不便になってしまわないように、早急な対策をお願いできればと思います。

以上で終わります。

○石垣委員長 以上で3番安孫子真弥委員の質疑を終わります。

次に、「4番東海林信弘委員」

○東海林委員 そしたら、私から1点質疑させていただきます。40、41ページ、2款1項3目会計管理費。

会計管理費の来年度の予算としては、レジスターの新紙幣に対応をする作業があるとい

うことで議案調査のほうでお伺いしております。私がここで聞きたいのは、会計課の業務を遂行する上で3名の職員の方がおられるということで、なかなか今、昼ですとか、金融機関が昼休み時間になってしまって、窓口業務が大分逼迫しているというか、混んで大変対応に困っているということをお伺いしております。ましてや5月、6月になれば、納付業務もいろいろ庁舎の窓口で会計担当としてしなきゃいけない業務もあるということで、非常に業務が大変な、過度な業務になっているのかなということで、つくづく実感しております。

それで、私も令和5年予算のときにも、一度会計課の職員の配置についてということで質疑させていただきましたが、今回も令和4年度の監査、決算審査の監査の指摘事項の中にも、人的配置の増などによってさらなる負担軽減を図ることが見込まれるということで指摘されております。その辺について、会計課の窓口、職員の体制を含めて、本当は所管課の課長からお聞きしたいんですけども、ちょっと答えづらいと思いますので、副町長のほうから、その対応と来年度の対応をお伺いしたいと思います。

○石垣委員長 「河内副町長」

○河内副町長 東海林委員のご質問にお答えいたします。

ご指摘のとおり、会計課の窓口の業務の状況について、監査の折にもお話はいただいているところでございます。時期的というか、特定の時期に非常に混み合うということも承知しております。一方で、様々な収納の仕方ということで、そちらの検討も併せて進めておりまして、河北町でこれまで対応できていなかったコンビニ収納関係、そちらのほうにつきましても検討させていただいております。

金融機関がここに来まして、昨年から特に

なんですが、昼休み時間帯を設けるようになったと。最初1つの銀行から始まったんですが、それが広がっているという状況になっておりますので、そういった状況変化も考慮して対応はしていきたいというふうに考えております。

直ちに人員増ということになかなか難しい面もございますので、収納窓口、複数ございますので、そちらで連携を取れないものかなということも併せて検討していきたいと思っております。

○石垣委員長 「4番東海林信弘委員」

○東海林委員 また連携、他の部署との連携ということで副町長から答弁ありましたけれども、前回も私質疑したときにも、ほかの課の連携を受ける、手伝ってもらおうという話もいただいています。今回も、コンビニ収納とかいろいろ、まだまだちょっと先の話だと思しますので、ぜひその納付期間、すごく混雑するきをめどに、そこら辺でやっぱり人員配置をプラスしていただければ、まだまだ業務の効率もよくなって改善できるのではないかと思いますので、ぜひ、まだ職員の配置とか全然確定はしていないと思いますので、令和6年4月からの職員配置、その辺も考慮していただければと思います。

以上で終わります。

○石垣委員長 以上で4番東海林信弘委員の質疑を終わります。

次に、「6番増川憲一委員」

○増川委員 予算書の36ページ、37ページ、2款1項1目3節の給与表の時間外勤務手当についてお伺いします。

本年度、6年度の予算は3,850万円。昨年度と変わりはないんですけども、令和3年度より300万円増加しております。職員の数ですけれども、正職さんで令和6年度4月1日には155名になる。令和4年度の決算では

153名で、令和3年度の決算のときには151名と、職員の数が増えてはいるわけですが、時間外の予算というのは、働き方改革に取り組むべきであれば、ほぼ減額するというのが行われてもおかしくないと思うんですが、その辺どのようにお考えでしょうか。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 今、増川委員のほうからお話あるとおり、今年度は3,850万円を計上させてもらいまして、前年と同額でございました。今回のこの予算を計上するに当たりまして、過去6年の平均というものを取った中での予算計上をさせていただいたところです。なかなか毎年度人員の増減はあるものの、やっぱり年々その都度で、例えばコロナがあったり災害があったり、いろいろ、いざというときにそういった時間外の確保という部分については、より柔軟な部分も持ち合わせないと、なかなか業務が滞ってしまうという部分もありますので、その辺を考慮した中で、過去の平均額ということでさせていただいております。

ただ、働き方改革という観点で労働基準法などにも照らし合わせながら、職員の時間外勤務というものについては、原則月45時間で年360時間以内といったものがありますので、そういったものをしっかりと管理しながらですけれども、各所管の課長を中心とした管理職のほうで、そういった職員管理、あるいは健康管理というものを持ち合わせた中で、仕事のめり張りをつけた中でそういった職員の意識改革というものも、組織全体で取り組む必要があるのかなと考えています。

以上です。

○石垣委員長 「6番増川憲一委員」

○増川委員 コロナの対策も大分落ち着いてきていると思うんですが、ワクチン接種

も全員というわけにはいなくなってきております。そこでなんですけれども、今年度の3,850万円という予算を組んだ中には、町の作業の中で、どういうものがこの時間外手当に該当してくる、例えば昨年度ですと、私たちの町議選挙があつて、その時間外手当は多分増えたと思うんですが、令和6年度はどういうことが考えられますか。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 日中の平時で終えない部分の継続的な時間外という部分も積み上げが当然あるわけですが、そのほかにも、今年度あるいは前年以前につきましてはコロナの業務があったり、あとは災害の業務、あとは国のほうの追加の業務といいますか、新規の業務なども年度の途中で加わるようなことも、これまで多々ございますので、そうしたものも含めた中で、一般会計のほうで行っている幅の広い業務全般にわたってなんですけれども、そういった時間外というのは種別、なかなか今個別の部分では難しいんですが、そうしたものを積み上げる部分の費用ということで、時間外全般にわたるものになります。

なお、この3,850万の中には、選挙に関わる、選管に関する部分、投票事務とか開票事務のほうはまた別枠で、選挙のほうで時間が別にありますけれども、それ以外の選挙管理に関する業務なども含まれております。

以上です。

○石垣委員長 「6番増川憲一委員」

○増川委員 令和6年度、町の一大行事であります70周年記念事業、これはいろんな課にまたがるわけなんですけれども、そちらのほうも各課が協力し合って、できる限り時間外、どこかに負担が寄るというわけではなく、やっぱり満遍に皆さんで協力して作業できるよう

な状況をつくり上げて、働き方改革をより一層進めていただければと思います。

私の質問はこれで終わります。

○石垣委員長 以上で6番増川憲一委員の質疑を終わります。

次に、「7番木村章一委員」

○木村委員 40ページ、2款1項3目の会計管理費ですね。これは今、同僚委員からありましたので、これはあれですね。各金融機関が昼時間窓口を閉めて、町に来客が集中するというのは、もうこの流れというのは変わらない、各金融機関が、コロナも終わったので昼休み開けるようにするとか、そんな方向には戻らないという見通しを持っているのかどうかお聞きしておきたいと思います。

42ページ、2款1項4目公共施設維持修繕基金の中で、令和5年当初予算では2,100万余りでしたが、当年度は1,000万余りということで、定住促進住宅の家賃収入から管理経費などを引いた分を積立てをするというふうにしてきましたが、今年もそういった引き算の中での、6年度もこの金額が算出されているのかどうかお聞きしておきたい。

44ページ、2款1項8目の地域振興総合交付金でありますけれども、敬老事業について中身を変更すると聞いておりますが、ちょっと中身について改めてもう一度説明してください。

それから、ごみステーション管理についても新たに設けるということですが、その中身を説明していただくと同時に、衛生指導員報酬というのがこれまでありますが、それとの関係、使い方、どのように考えているか説明してください。

それから、46ページ、2款1項9目の空き家利活用のパンフレットと、それから48ページになるんですけれども、同じ2款1項9目の空き家対策パンフレットが、似たような金

額で30万円弱でそれぞれあるんですけれども、どんな関わりなのか。似たようなものであれば、一緒にして中身を充実させるなどという方法もあると思うんですが、どうでしょうか。

66ページ、3款1項2目児童福祉総務費にあった放課後児童クラブ費が、教育費の10款1項7目のほうに移っておりますけれども、中部小学校のミーティングルームを新たに放課後児童クラブの施設として使うという大きな動きをして、こちらの児童福祉総務費から教育費のほうに移したという、これ町長、どんな狙いがお持ちなのかと、町長の考えなのか副町長なのか分かりませんが、どんな狙いがあったのかをお聞きしておきたいと思います。ちょっと心配なところがあるというので、お聞きしておきます。

68ページ、3款2項5目、副食費の無料化がどこに含まれているか説明していただきたいということと、あと、認定こども園の整備事業費補助金の内訳をお聞きしておきたい。今度認定こども園が4つになりますかね。その整備事業費補助金がどんなふうな内訳か説明してください。

72ページ、4款1項2目の予防接種費なんですけれども、コロナ接種に、これまでは無料でコロナのワクチン接種を受けていたんですけれども、ちょっと分かりにくいといけないうので分かりやすく、どんなふうになりますとなるのか、説明してください。

それから、72ページ、4款1項3目、町のタクシー利用助成でありますけれども、令和5年度利用状況と、それを受けて土日の運行はどうかと、そういうニーズは結構出てきていると思うんですが、あと利用時間長くするとか、行き先をもうちょっとフリーに使う、フリーとは言わなくても、もうちょっと整備できないかというような、本来の、ない足を補填してあげるという点でどう考えているか、

お聞きしておきたいと思います。

76ページ、4款1項3目でクーリングシェルターを当初から考えていくということですが、のぼり旗なども作るということですが、特に高齢の方なんかが使うと思うんですね。そのときにクーリングシェルターって、せっかく旗を立てても分からないなどということがあるのではないかと。熱中症対策避難所みたいに、ここへ来ると熱中症対策でゆっくりできるということを分かりやすくするなどということを考えているかどうかお聞きしておきます。

それから、同じ76ページ、4款1項5目基本健康診査委託料であります。健診センターの胃がん検診は、バリウムを飲んでレントゲンを撮るという方法しか選べない。このバリウムの悪影響で最悪1週間ぐらい不調になると。せっかく健康診断に行ったのに調子悪くなっちゃうというふうなことを言う人結構いるんですね。胃カメラも選択できるようにしてほしいという声が多いんですけれども、ぜひそういうことを声を上げて、そういう方向へ進めないかと思いますが、いかがでしょうか。

以上お聞きします。

○石垣委員長 「軽部会計管理者兼会計課長」

○軽部会計管理者兼会計課長 40、41ページ、2款1項3目の会計管理費の中ですけれども、金融機関、今現在11時半から12時30分までの昼休み時間ということで、その間の時間帯に役場のほうに納めに来る方が多く見られるように感じております。

今後の見通しということですが、各金融機関等からそういった話はまだ聞いておりませんので、引き続きその時間は昼休みというふうに認識しております。

以上です。

○石垣委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課

長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 42、43ページになります。2款1項4目企画財政費の中の公共施設維持補修基金積立金であります。考え方は木村委員の言うとおりでありまして、定住促進住宅の使用料から定住促進住宅にかかっている維持費分を引いた分を積立てにするというふうになっております。

今年度、令和6年度の予算につきましては、使用料収入のほうが大体300万ぐらい減っているところと、あと支出のほうの維持費であります。定住促進住宅のほうにつきましては、イノベーション等の費用も含んでおりますので、6年度の事業費がちょっと多くなっているということで、使用料以外の財源もなるべく考えて充当しているところでありますけれども、ちょっと一般財源的な支出が多くなっている、積立てが昨年度に比較してちょっと少なくなっているという状況になっているところであります。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 45ページ、2款1項8目まちづくり推進事業費の地域振興総合交付金の内容でございます。

今年度につきましては、大きく2つの点について令和6年度からしたいと考えております。

1つ目が敬老会事業でございます。こちらにつきましては、これまではその地区の世帯数掛ける600円ということで交付していたところでございますけれども、もう少し増やしてほしいという要望がございましたので、その地区の75歳以上の方の人数掛ける1,000円ということで、より敬老会事業ということにふさわしいような算定に直したところでございます。

あともう一つが、新規でごみステーション管理事業ということで、ごみの分別指導やご

みステーションの維持管理のため、各地区が設置する衛生指導員の負担軽減を図るというふうなことで、ごみステーション1か所につき5,000円を交付するというようなことで、これが新規になります。

衛生指導員との関わりでございますけれども、衛生指導員につきましては、ごみの分別の指導、また、ごみステーションの維持管理に関すること、その他ということで設置要綱には掲げておりますけれども、ごみステーションだけではなく、もっと総合的なところで衛生指導員に活躍していただきたいというふうに考えておるところでございます。

○石垣委員長 「日塔空き家対策主幹」

○日塔空き家対策主幹 2款1項9目、48、49ページの危険空き家等対策費の中での印刷製本費でございます。

その印刷製本費の中での空き家の対策パンフレットということでございます。9目の空き家対策費の空き家利活用推進費の中でも、印刷製本費で同じようにパンフレットを作るということで、来年度計上しているところでございますけれども、この中身についてでございますが、危険空き家について、まずパンフレットとして補助金等を来年度設置することになっておりますので、その周知が主なものというふうに考えておりましたけれども、こちらの利活用推進費のほうでもパンフレットがありますので、ちょっと内部のほうで話させていただきまして、どのようにするかということで、ちょっと話はしたところでございます。

まず考え方として、1冊で分かりやすく作るというやり方もありますし、推進費というところで活用という冊子、あと危険空き家という冊子にして、表紙を同じくして、あとタイトルを危険空き家とか、あと活用とかというタイトルに分けて、2つのバージョンでやると

いうやり方で、分かりやすく町民の方に空き家に対する対策の説明をしていくということで進めてはどうかということで、考えているところでございます。

そのやり方については、ちょっと新年度になってからということになりますけれども、そのような形で空き家対策、知らせる努力と、町民の方に知らせる努力ということでさせていただければなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 放課後児童クラブが学校教育課のほうに移管した件につきましては、学校のあり方検討委員会の答申なども踏まえて、今後、教育施設の利活用や教育施設の在り方、子供の放課後の過ごし方、子供の居場所などを考えたときに、放課後児童クラブは、今後学校の在り方と一体的に考えていかなければならないということから、子供のことを考えると、学校の子供、放課後の子供、どちらも学校教育課のほうで一体的に考えていったほうが良いとの考えから、事務のほうに移管したという経緯になります。

68ページ、69ページ、3款2項5目児童福祉施設費の副食費の無償化についてになります。

こちらのほう、予算書では認定こども園運営委託料、町外特定教育・保育施設運営委託料、特定教育・保育施設運営委託料のほうに副食費の無償化ということで入っています。こちら町として新たに子育て支援の拡充を行っていくということで、3歳以上の副食費の無償化と、あとゼロから2歳児の保育料の負担軽減を行っていくというものも入っているため、増額になっているところです。

同じく68ページ、69ページの認定こども園整備事業費補助金の内訳についてになります。

令和6年度の補助金額としまして、社会福祉法人敬愛信の会のほうに1,060万1,424円、社会福祉法人平和春秋会のほうには1,059万5,416円というふうになっているところです。

以上です。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 予算書の72、73ページになります。予防事業費の中に定期予防接種委託料ということで6,200万ほどの予算が計上されているところですが、この中に、今回令和6年3月31日をもって新型コロナワクチンの全額公費による接種というのが終了する関係で、令和6年度の接種にかかる費用ということで予算のほうを計上しております。

今回の予算要求の考え方ですが、まだ国のほうから接種費用等については示されておられません。ということで、まず予算要求の中では、高齢者のインフルエンザワクチンと同等の金額を計上しまして、それで、その中で令和6年度の接種については、定期接種の対象者として65歳以上の方、あと60歳から64歳でも基礎疾患がある方とかについて対象とするものということで考えております。接種の時期ですが、これは年1回、秋冬ということで考えてございます。費用については、まだ単価について示されておらないんですが、原則として自己負担というものが発生するということを見込んでおるところでございます。

そういった内容については、今後、単価について変わったり正確な単価示された折には、補正なり、そちらのほうで対応するということを予定しています。

以上です。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 予算書の75ページのタクシー利用助成委託料でございます。

令和5年度の利用状況ですけれども、1月末現在になります。登録者数が632名が登録

されております。その方の利用件数ですね。延べ件数になりますけれども、6,251件になります。1日当たりにしますと30.2件ということになってございます。登録者数632人おりますけれども、実際に利用している人数を見ますと363人ということで、約半分強の方が利用されているという状況になってございます。

あと、土日運行できないとか、制度の拡充の点ですけれども、そちらについては、土日の運行についてですけれども、町内のバス路線4路線ありますけれども、こちらが平日のみの運行であるということ。あとはこのタクシー助成なんですけれども、公共交通の1つとして捉えているところもあります。あとは委託先の運転手の確保、運転手不足、あとはタクシーの台数とかも問題がありますので、今のところ拡充というのは考えていないというところでございます。

予算書の77ページのクーリングシェルターの件でございます。

ゼロカーボン推進事業費の中の消耗品費があります。この213万円のうちの187万円の分が、のぼり旗とかそういったクーリングシェルターについて使われる予算の計上ということになってございます。

国のほうでこのクーリングシェルターというのがあるんですけれども、実際はもっと難しく、指定暑熱避難施設というのが名称になってくるかと思います。これがクーリングシェルターと呼ばれるものなんですけれども、そちらについてののぼり旗を指定されたところに立てて、ここがクーリングシェルターだよということでお知らせするというものになってございます。こういった指定施設とか指定時間とか、そういったものについては、広報とかホームページのほうで周知するところになっております。また、県のほうでもクーリ

ングシェルターの位置情報を示すウェブマップということで、6年度の予算のほうに計上されていると聞いております。あと、国のほうでも、今後手引とかお示しするというところで、あとクーリングシェルターに関するマップ等も作成するということがありますので、そういった状況も見ながら対応していきたいなと思っております。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 予算書の76、77ページ、健康増進事業の基本健康診査委託料の中だと思っています。

センターにおいてのバリウム検査につきましては、バリウム検査そのものが、やはり基本的な健康診査の場合、国内ではほぼバリウム検査というのが通例であります。ただし、バリウム検査はやっぱり飲むだけありますので痛みのものはないのですが、排出のときにやはり影響を受ける方でありますとか、あと高齢者に関しては体勢を保持するのに体力的な問題があったりとか、そういったもののデメリットもあります。ただし、やっぱり費用面と、ある程度数をこなさなければならないということから、やっぱりセンターなどでは、もちろんバリウムのほうを選択しているわけなんですけど、そこで合わないという方やっぱりおりますので、そういった方は基本的な健康診査の中から、あえてその胃の検査を外して、自分でカメラを飲んでいただいている方もおります。そういったことで自分に合うやり方を選んで負担のない方法で、ちょっと費用は違うんですけども、そういったことをやっぱり選んでいただくしかないのかなと。

あと、やはり医師が、胃カメラの場合ですと技術的なものが必要になってくるということから、やはり件数的にもこなせないということがありますので、そういったことをトー

タル的なことで考えますと、やはり自分に合ったやり方、検査の方法を選んでいくということがいいのかなというふうに思います。

以上です。

○石垣委員長 「7番木村章一委員」

○木村委員 再質問いたしますが、ごみステーション管理費として新たにお金をつけるようになったわけですが、もう一度確認しますと、衛生指導員報酬というのは、それはそれで従来どおりあって、それとは別にこういう管理費というのが交付されるということではないのかどうかですね。そうした場合にどんな使い方をするのか、衛生指導員にそのまま、場合によってはさらに、衛生指導はなかなかきっちり毎週やろうとすると本当にハードな仕事にもなります。精神的にも大変だったりもしますが、そういった使い方でもいいし、また別の使い方でもいいというようなものなのかどうか、使い方についての縛りはないということかどうかお聞きしておきたいと思います。

それから、コロナワクチンの予防接種についてですけども、インフルエンザと同じようなやり方というふうに言われても、コロナワクチンだから受けたと。そもそも、インフルエンザとか何かのワクチンを受けたことないなんて人も多いと思うんですね。インフルエンザと同じと言われても、どういうやり方なんだみたいなこともあると思うんですけど、申込みは自分で医療機関を探して、そこに予約をして受けるということになるのかどうかということを、もう一度お聞きしておきたいと思います。それから、65歳未満の人はどんなふうになるのかお聞きしておきたいと思います。

それから、クーリングシェルターののぼり旗ですね。主にこの恩恵を受けるのが高齢者だと思うので、そういう人にネットで見てほ

しいとか何かやっても、なかなか分かりにくいと思うので、クーリングシェルター、先ほどもっと難しそうな名前があったけれども、そうじゃなくて熱中症にかからないように使ってほしいというような、日本語で熱中症対策センターみたいなね。対策避難所みたいな、もっと分かりやすくするとか、絵を入れるとかね。ここへ行くと涼しく過ごせるんだなと分かるみたいなことを、もう一ひねり頑張って考えたかどうかということをお聞きしておきたいと思います。

それから最後ですが、検診センターのバリウムによるレントゲン検査は、いろいろ調べると被曝量も結構あったりして、胃カメラも選べたいと。気にしない方もいるんですけれども。一気にバリウムから胃カメラに切り替えるというんじゃなくて、両方選べるようにするというふうにしていくための呼びかけといたしますか、町だけでやっているわけじゃないので、そういったところでそういった声がありますよと。ぜひ胃カメラも導入する検討を進めたらどうですかと。それで駄目だったらバリウムやめてほかの医療機関に行きなさいというのは、そもそも胃がん検診で、できるだけ幅広い人に胃がん初期段階で見つけて重篤にならないうちに対処しましょうということからは大きく離れてしまうので、自分で胃カメラやってくれるところ探せというのは、なかなか逆にすごくハードル高いので、この検診センターでも胃カメラで検査できる方向を少し時間かかっても探していくというふうに、ぜひすべきだと思うんですが、もう一度、町からそういうふうに呼びかけていくということはないのか、お聞きしておきたいと思います。

以上、お聞きします。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 45ページ、まちづく

り推進事業費の地域振興総合交付金の中のごみステーション管理事業のご質問でございますけれども、初めに衛生指導員報酬、これまでも報酬をお渡ししていたわけですが、そちらについてはこれまでどおりで考えております。地区が管理するごみステーションの数の不均衡を是正するということもありまして、今回ごみステーションの数に応じて1基当たり5,000円を交付するという形で新設したわけですが、こちらにつきましては、令和5年度にいろいろと調査をしたところ、地区によってその管理方法がいろいろでしたので、交付金につきましては各地区の使い方を使ってほしいということで考えております。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 コロナワクチンのことですが、基本的に考え方は先ほど申し上げましたけれども、65歳以上の方、あと60歳から64歳の方で重症化リスクの高い方ということは接種の対象として考えておりまして、その方については、実施の医療機関のほうで個別接種という形になります。ただし、町内ということをお前提としております。町内の実施する個別の医療機関というふうなことになります。そちらに申し込んでいただくということにはなります。

それ以外の対象者については、やはり今のところは自分で打っていただくということになるかと思いますが、ただ、その単価がまだ分かりませんので、どれだけの負担が必要かということはこれからになるのかなというふうに思います。

○石垣委員長 「今田生活環境企画主幹」

○今田生活環境企画主幹 クーリングシェルターについてもっと分かりやすくということですが、国とか県の情報を得ながらになってはくるかと思いますが、ほかの自治体とかのものも参考にして、涼みどころとし

ているところもあるようでございますので、
分かりやすく工夫した形で対応できればなと
考えております。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 センターのバリウム検査の
ことについてでございますが、やはりバリウ
ム検査のメリット、デメリット、あと胃カメ
ラのメリット、デメリット、バリウムだっ
たら飲めるという方も多いんです。そういつ
たこともありますので、やはり自分に合ったや
り方を選んでいくというふうなことでは、両
方選択できるようにすれば一番いいのかなと
思うんですが、やっぱり数がこなせないとい
うのがやっぱり胃カメラの一番、ある程度人
数がいるときの集団検診的なものと、そ
ういったことでのデメリットになるかと思
います。それらも踏まえて、センター側には申
入れという形で、そういった意見があるとい
うことはお伝えしたいと思います。

○石垣委員長 「7番木村章一委員」

○木村委員 クーリングシェルターで涼みどころ
などというの非常にいいと思いますね。そう
すると分かりやすいと思います。ぜひそう
いった努力もしていただいて、この夏、熱中症
などが発症しないようにお互いに協力したい
というふうに思います。

以上で終わります。

○石垣委員長 以上で7番木村章一委員の質疑を
終わります。

次に、「10番林智委員」

○林委員 よろしくお願ひします。

まず、44ページ、2款1項8目まちづくり
推進費の中の移住定住推進事業費の中からお
聞きます。

広告料として今年度よりも来年度の予算が
拡充されていますが、その中身についてお聞
きしたいと思います。

あわせて、同じ項目の中からお試し移住住

宅賃貸料とありますが、利用率といいますか、
その辺のところをお聞きしたいと思います。

それとまたあわせて、同じ款項目の中で、
今年度、「ちえっと雪ふる山形河北町で3泊
4日の田舎留学 みんなで女子会しません
か」というような事業もやっていますが、そ
の辺の今年度の実績と、来年度どのようにな
っているのかも併せてお聞きしたいと思います。

次に、48ページ、2款1項10目町制70周年
記念事業費の中からお聞きしたいと思います。
印刷製本費として、70周年記念の記念誌発刊
ということで準備を進められているというこ
とですが、一応全戸配布ということなんです
が、若い世代なんかは、やはりそういった冊
子を見るよりもデジタルデータとして見たい
という方が多いというふうに受け止めている
のですが、そういった観点から、デジタルデ
ータの配布等の予算計上などは考えなかった
のかについてお聞きしたいと思います。

次に、61ページ、3款1項2目地域生活支
援事業費の中からお聞きしたいと思います。
地域生活支援事業委託費として今年度増額と
いうことになっていますが、支援事業の内容
等について、どのような感じで増えたのかを
お聞きしたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 失礼しました。45ペ
ージ、まちづくり推進事業費の移住定住推進
事業費の広告料でございますけれども、こち
らにつきましては、雑誌のほうの掲載につ
いて令和6年度につきましては回数を増やす
ということ、あとはふるさと回帰センターの登
録者へのDMも検討しておりますので、こち
らのほうの金額が増えているというふうな内
容になっております。

あと、今年度実施しました移住イベントで

ございます「ちえっと雪ふる山形河北町で3泊4日の田舎留学」ということを、今年度初めて企画してみたところでございます。こちらにつきましては、大学生の女子の方を中心に移住体験住宅を利用させていただいて、河北町を知っていただくという内容でございます。来年度につきましてはまた策を練りまして、今考えているところではベニバナのシーズンにこういった内容を企画したいということで、サクランボと併せてやっていきたいというふうに考えているところでございます。

あとは、お試し住宅の体験者数でございますけれども、令和4年度につきましては9件で16名ということで、利用件数があつたというふうなことでございます。

以上です。

○石垣委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 48、49ページ、2款1項10目の町制施行70周年記念事業の中の印刷製本費の部分になりますけれども、記念誌の発刊を予定しておりまして、令和5年度の予算において債務負担行為を取りまして、2か年かけて記念誌の編集、発刊を予定して、来年度発刊したいというふうにしていただいております。

発刊に当たりまして、本のデータというか、印刷業者さんのほうからPDFでの提供を予定しております。それをホームページに一応今のところ掲載したいというふうに考えているところであります。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 予算書の60、61ページ、3款1項2目障害者福祉費の地域生活支援事業委託料2,796万7,000円に対するお尋ねであります。この内容につきましては、相談支援事業としてひだまりの家、ういんずさん、かぼちゃさんの相談支援の委託業務についてここ

に計上しておる内容でございます。

そのほかにも、社会福祉協議会への意思疎通支援事業の委託でありますとか、あと通学支援ですね、障がいを持ったお子さんの通学支援などもここに予算としては入っておりますところでございます。

昨年度と増えたところといたしまして、基幹相談支援センターでありますかぼちゃさんであります。この相談業務について年々相談業務が増えてきて、令和6年度から1人職員を増やしたいという、もちろん相談業務が倍ぐらい近くなっている、それに対応する人件費の部分ということで、前の年よりも増えているというふうな内容がほとんどでございます。

○石垣委員長 「10番林智委員」

○林委員 ありがとうございます。

では、改めて質問させていただきます。

今、移住定住促進費の中の広告料ということで、雑誌の記載回数やダイレクトメールを増やすということであったんですが、以前ちょっとお聞きしたときに、首都圏等でのイベント等にも行っているというようなことをお聞きしたのですが、その辺ちょっと間違いなかったのかということで、先に1点お聞きします。

それと、ちえっと雪ふる山形女子会のほう、大変いい事業ではないのかなというふうにご受け止めています。お試し住宅を活用する上でも、こういったことをやりながら、よりよいことを活用しながら河北町を楽しんで、河北町の移住につながるような方向に進んでいただければいいと思いますので、ぜひいろんなところで声がけをしていただきながら、いろんな方にきていただけるようにやっていただきたいなと思っています。

それと、70周年記念誌のほうは分かりました。

生活支援員のほうなんです、相談件数増えているということでしたが、増減、どの程度増えてきているのか等も併せて教えていただけるとありがたいです。

以上です。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 移住定住推進事業費の中の首都圏への移住定住のPRということでございますけれども、こちらにつきましては、職員が東京のほうに行って相談会を実施するというようなことですので、项目的には職員の普通旅費、そちらのほうに出てくるかと思えます。年間で10回ほど行くという形で毎年行っておりますけれども、令和6年度につきましては、新たなイベントにも参加するというところで拡充を図っていきたいというふうに考えているところでございます。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 基幹相談支援センター業務の利用の増の内容でありますので、令和6年度の委託料を算出するに当たっては令和4年度の相談実績というものがベースになります。そこを踏まえた上で、令和元年の実績から申し上げますと、令和元年の実績として109名、あと令和2年が110名、令和3年が154名、令和4年が401名ということになっております。また一番新しいやつが、令和4年の実績というものが委託料のベースになってきています。

以上です。

○石垣委員長 「10番林智委員」

○林委員 ありがとうございます。

首都圏のイベントPRというのはちょっと違ったということだったんですが、その辺も含めながら、そういった中でもちえつと雪ふる田舎留学などのほうも一緒にPRしていただければ、よりそういった活用が増えてくるのかなというふうに思います。

あとは、生活支援相談のほうですが、ここ

数年急激に増えているということで、やはりその中でもまだまだ声を上げられない方も多々いる、あとは相談をできることも分からなくっている方もいらっしゃると思いますので、そういった意味で相談できるということも何かしらいい形で周知を考えて、今後も続けていただければと思います。

以上で終わります。

○石垣委員長 以上で10番林智委員の質疑を終わります。

次に、「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 おはようございます。

私のほうから、1点だけちょっと質疑をさせていただきます。予算書40、41ページ、2款1項2目職員研修費でございます。

令和6年度の計画と令和5年度の違いをまずは教えてください。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 40、41ページ、2款1項2目職員研修費です。

予算額で言いますと、新年度、令和6年度282万円、前年度158万円ということで、124万円ほど増額しております。大きく変わるところでございますけれども、まず職員研修というものは、多様化するニーズに迅速に対応した中で、住民サービスの向上のためといった観点で、職員育成の基本方針に基づきながら職員の専門的知識、あるいは職員の資質向上というものを目的に進めておるところです。

令和6年度におきましては、事前の予算の調査のほうでもご説明申し上げましたが、様々な研修の中で町のほうでは自主研修制度というものを設けさせていただいております。これまでも自主研修制度はございましたけれども、従前のやり方は、職員自らがそれぞれの町の政策課題というものを自分で抽出した中で、研修のほうへ視察研修も含めて

行って、それらを報告するというような形でやっておりました。新年度からは、こちら側から喫緊の課題、政策課題というものを、改めて事前に町のほうで抽出したものを職員のほうへ、個別の職員のほうへ示した中で、研修に出向いて、その研修成果を業務に生かしてほしいという視点で行く、そういった費用を新年度のほうの予算で計上させていただいております。そこが大きく拡充したポイントでございます。

以上です。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 再度質問をさせていただきます。

その新しい研修の手法については令和5年度には取り入れられなかったということで、何かこの令和5年度と令和6年度の課題点とかがありまして、令和6年度は新しい人材育成を目指すということでの、新しい研修の手法だったのでしょうか。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 自主研修制度に基づいた職員自らの研修参加という部分は、若干ここ数年間コロナの影響もあった中で、参加件数が非常に少なかったと。そうした中で、今年度はDX推進に向けた研修ということで独自研修2回ほど、延べ人数で言いますと4名ほどが研修に参加、今年度していただきましたけれども、やはりこういった今の町のほうの近々の町政課題といいますか、そうしたものにも目を向けて職員のほうに研修して、その成果を業務に生かしてほしいという町側のほうの強い思いもありますので、その辺を今回、新年度の予算に計上させていただいたといった内容でございます。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 再度ご質問をします。

だとすると、新しい研修を導入した狙いと

効果というのは、人材育成の観点から新しい組織を目指すということでの受け止めでよろしいですか。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 新しい取組として、人材育成の強化というような観点だと思います。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 ありがとうございます。

最後に、再度お聞きしたいと思います。

新しい研修を取り入れることによる狙いと効果、これは多種多様なニーズに対応するためということもありましたが、今後、新しい多種多様なニーズに対応するために、自主で取り入れるという答弁もありましたけれども、こういった研修会というのは、今後もっと計画する予定でありますでしょうか。令和6年度なので、何回とか誰がというのはまだ決まっていなくて、言いづらい部分はあるかと思うんですが、今の思いを、もしお答えできる範囲でお聞かせいただけたらと思います。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 研修会というよりかは、自主研修のほうは研修というか視察といいますか、勉強を自ら行う、場所も定めてですね。そういったものです。研修会という部分では、そのほかにも町独自には町独自の研修ということで、講師を招いての研修会、あるいは合同研修、派遣研修とか、そういったもので町から離れて、そういった大きい会場の中で研修会のほうに臨んでいただくというのは、それとはまた別の研修項目としてございます。そうしたもので、今の行政ニーズにいろいろ的確に捉えられた研修のカリキュラムというのはたくさんございますの

で、そちらのほうも適材な人材を、職員のほうを研修会に向かわせながら、随時、その辺は継続的な研修というものを進める必要があるかと考えております。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 ありがとうございます。

組織は人なりという言葉があるかと思いますが。これは、よく企業のほうで使われる言葉なのですが、今後は、やはり行政の組織も新しい感覚、また多種多様なニーズに対応しなければならないという時代であるかと思うので、ぜひそういった研修を多く取り入れながら、新しいご発想とかニーズに対応いただければと思います。

以上、終わります。

○石垣委員長 以上で11番奥山英幸委員の質疑を終わります。

ここで10時35分まで休憩とします。

休 憩 午前10時16分

再 開 午前10時33分

○石垣委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

1款から4款までの質疑を続けます。

次に、「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 私のほうからは4点質問させていただきます。

まず1番目、54ページ、2款4項2目選挙管理費の山形県知事選1,119万円、この内容についてちょっとお聞きいたします。

山形県の半数以上の自治体が、人件費の削減とかそういった内容を基にして、選挙の閉まる時間を早めている実態がございます。今まで8時開票締めという内容が、7時という予定になっております。その辺のところをどのように河北町のほうは考えるのか、内容をちょっとお伺いしたいなというふうに思っております。相当数、やはり12時過ぎまで職員さんが頑張って、そして翌日朝また8時半か

ら出勤というふうな内容なんかもありますし、あとパソコンとか様々OA機械が発達していますので、河北町のほうもそれに対応してやってもいいんじゃないかなというふうにはちょっと思っている次第です。昨日、傍聴来ていただいた方も、立会人という内容で私もやっているんですよと。そして夕方の7時から8時まで誰一人来なかったと。ずーっと座っているだけだったと。そういうふうな現状があると。

また、期日前投票が非常に増えていますので、この辺のところをどういうふうに行政のほうは考えていらっしゃるか、この辺のところをお聞きしたいと思います。

あと2点目、51ページ、2款2項2目賦課徴収にショートメッセージのサービスを使って税の滞納者に対して催告をすると。54万5,000円うたわれています。これはこれで時代の流れかなというふうには思っていますが、やはり今、偽メールが非常に増えていると。そして、河北町役場ですよというふうなメールに対しては大半の方が信用すると。そして、その信用を悪用する方が当然いらっしゃる。2年前、3年目あたりにも役場職員の名前を使って、そういう事件もちょっとございました。その辺のところを考えれば、どういうふうにして催告をする方へのショートメッセージの二重チェック、どういうふうな形でやるかということをちょっとお伺いしたいなと思っております。

あと3点目、49ページ、空き家除去事業費、2款1項9目1,000万円予算がついております。今回、一般住宅関係の空き家についても対処するというお話でしたので、具体的にこの中身についてお聞きいたします。

最後71ページ、認定こども園移行支援、3款2項5目、これは2億5,000万。民間幼稚園の老朽化に伴い園舎を新築し、認定こども

園に移行する費用の助成をするとあります。今の民間保育園のほうは40年経過しているやつですので、そろそろかなというふうにはちょっとと思います。ただ、行政のほうは民間の施設のほうと相当数いろんな打合せをされたかと思いますが、少子化がとんでもないスピードでやっぱり進んでいます。この状況を踏まえて、5年後、10年後、この認定こども園が健全な経営が保てるような状況になっているかということを、多分その打合せの中でもしっかりと確認はされたのかなというふうに思いますので、その辺のところをちょっとお伺いしたいと思います。

この内容については、やはり若年女性が河北町は物すごくやっぱり減っているんですよ。令和4年の実績になりますが、20歳から24歳まで5歳刻みで今からちょっと4つお話ししますが、195人、そして25歳から29歳までが204人、30歳から34歳が312人、あと35歳から39歳までが425人と。4番目に言った425人と20歳から24歳までの方が半分なんです、半分。ですから、今から施設を造ろうとなったときに、これまで同様の古くなったから造るというわけじゃなくて、規模をどうするか。そして、その規模に合わせて入ってくる子供さんの確保をどういうふうにするか。そういったところまでやはり町は進んでいかないと、民間幼稚園、勝手に造るんだという内容では決していないはずですので、今回しっかりと2億5,000万を助成すると。そういうふうな観点から、どんな計画を思っこの予算を計上したか。このことについてお伺いしたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「須藤防災・危機管理監兼総務課長」

○須藤防災・危機管理監兼総務課長 55ページ、2款4項2目選挙費関係でございます。

今、吉田委員のほうからお話ありました開票の時間、あるいは立会人のいろいろな大変さ、あとは期日前投票が普及した中で今後の動きなどについてということで、町のほうの選挙管理委員会を通じた中で、そういったものについて、やはり我々のほうも課題として認識しているところです。特に本町は合併以来、投票所15ということですからずっと変わっていないというのが、ほかの近隣のところを見てもなかなかちょっとまれなケースでありまして、まずそこにメスを入れるべきということで、どうなのかという部分は議論させていただいた経緯もございます。

ただ、今のところは従前のままということですけども、やはり立会人の負担というものも、人数も人口も減少している中で、なかなか適材適所のメンバーを確保するという中でも、なかなか大変さが生じているという現実を捉えた中で、その辺の投票所の数の在り方、あと併せて投票時間、開票時間ですね。投票時間のほうを一定程度、全部とはいわずにも若干投票率が高めの中で、もう後半からは来ないような、そういったデータなども抽出しながら、ある程度投票に影響のない時間帯で閉められるようなところというのは、なかなか分析をした中でないと判断がすぐ結論は出ないかと思いますが、その辺、投票のほうに影響の出ないようなやり方、方法、河北町に合ったやり方。あと開票時間も、やはり開票する職員の負担軽減という面から見れば、やはり早い時間に開票を行った中で開票結果をスムーズに出すという、そういったスタンスは今社会全体の流れですので、そうした部分、課題意識をしっかりと持って、選管を通じた中で議論を深めていきたいと考えております。

以上です。

○石垣委員長 「今部税務町民課長」

○今部税務町民課長 50ページ、51ページ、2款2項2目の賦課徴収費の中の、手数料の中のSMSを活用した徴収ということのご質問でございます。

このSMSのショートメッセージにつきましては、委員おっしゃるように詐欺メールという話をよく聞くところでございます。そのメールに関しましては、そこに返信すると手続が何かなって、お金を払ってくださいとか、何かそういう詐欺のようなメールになっておりますが、このたびのうちのほうがお送りするメールにつきましては、分納誓約とかの滞納が滞っている方について、河北町役場です。文面につきましては検討しますけれども、河北町役場ですということで、間もなくお支払いの時期が近づいておりますので、よろしくお願いいたしますという内容でございますので、それから返信をしてもらったり、クリックしてどこかのページに飛んでいくというようなことは全くございませんので、あくまでも未納者に対しての催告という意味では、収納率向上につながるのかなと思っていますところでございます。

以上です。

○石垣委員長 「日塔空き家対策主幹」

○日塔空き家対策主幹 2款1項9目、48、49ページの危険空き家等対策費の空き家等除却事業費補助金についてお答えいたします。

この補助金というものでございますけれども、今年度分の補助金もございました。それにつきましては特定空き家のみと。特定空き家というのは、周辺に危険を及ぼすような空き家になりますけれども、こちらを協議会に諮りまして、町長が認定したものになりますけれども、こちらのみの補助金としたところでございますけれども、令和6年度につきましては、全ての空き家を対象する用地ということでの補助金にしております。

中身としましては、空き家の軒数につきましては9軒を予定しております。特定空き家については8軒と。空き家については上限40万、特定空き家については上限80万という手だてで、補助金を創設するということでございます。

以上でございます。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 70、71ページ、3款2項5目児童福祉施設費の認定こども園移行支援事業費補助金の件になります。

こちらのほうは、現在の建物が築39年を経過して老朽化が激しいため建て替えをするというもののほかに、あと現在、この私立幼稚園のほうでは幼稚園と小規模事業所をそれぞれ別の場所で運営しており、常々ゼロ歳から5歳児が同一敷地内で関わりを持って、保護者も利用しやすい環境を整備する必要を感じていたという点もございます。

現在、町のほうでは認定こども園が3つと、私立幼稚園1つというふうになっておりますが、子供の出生数の減少により、既存施設での受入れ体制が十分ではありませんが、幼児施設においては、学校と違って施設の多様な選択肢としての、幼稚園の規模とか教育内容、あと保育のニーズの提供なども大切だというふうに思っております。町内でも古い幼稚園になりますので、その幼稚園を支持している方への責任というのも、強く法人のほうでは感じているところです。

園の今後の健全経営化が保たれるかということにつきましては、何度も園のほうとも話し合いを行いました。こちらのほうは心配ないといえますか、園のほうでやらせていただきたいという思いのほうが強くなることになっております。

以上です。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 ありがとうございます。

まず、選挙関連のやつに関しては総務課長のほうからご答弁いただきましたが、やはり私は、やれるんじゃないかなというふうには思いますので、やる方向で、とにかく投票の終了時間を一応7時と。そしてスタートが7時、夜も7時と分かりやすい時間帯の中で考えていただければいいのかなというふうには思っています。とにかく、待ち時間でぼけっとしている時間が長過ぎるというふうには本人も言っていましたので、俺に言ってくれというふうに言っていましたので、きちんといい方向に持っていったいただければなと思います。2035年ぐらいには、やはりこの町は1万4,000という人口規模になるよというふうなことも一応出されています。やはり、今やれることから少しずつやっていくという方向性が私はいいのかなというふうには思っていますので、無駄のない金の使い方を徹底してほしいと思います。

あと、税務町民課のほうの催告なんですけど、やはり誤ってそのメールが自分のところに入ってきたとなったときに、やっぱり大半の人は憤慨すると思います。その憤慨をやはりなくするためには、担当が1人でやったのでは多分全く気づかないと。でも、今のシステムの中では、上司の決裁というのがシステムを少しいじらないとなかなかできないという判断なんかもあると思います。そういったところにしっかりとメスを当てていただいて、やっていただきたい。そして、税金を滞納する人が、皆さん携帯を持っていらっしゃるのかなということも、私ちょっと疑問に思いました。携帯関係は、やっぱり毎月何千円もかかりますので、それももう高齢になっちゃったのでやめたと、そういう方もいらっしゃると思います。あと、持っていない方については、これまで同様はがきとか手紙でお知らせするという形に当然なろうかと思いますが、それ

もやはり事前に、期日どおりに納付いただけるような対応をしっかりと前に進めていただきたいということを、一応あえてお願いさせていただきたいと思います。

あと空き家解体、ようやと一般住宅40万円の解体を助成するという内容で、40万円に多いか少ないかと言ったら、まだまだやっぱり他市町に比べれば、空き家解体への熱がちょっとまだ少ないというふうには思いますが、今の空き家を潰していただければ、優良宅地に化けるという観点から、これは絶対的に行政のほうとしては前に進めるべく政策だと思っています。

やはり、来年あたりは80万ぐらいになるような感じで、どんどんどんどん、このきれいなまちづくりを進めるというところを目指していただきたいと思います。最初の第一歩が始まったという内容で、非常にうれしく思います。

あと、認定こども園のほうなんですけど、この先どういうふうに出生になるかというデータについては、やはり行政がきちんとつかんでいるわけであります。そのつかんでいるデータというやつを、町で事業を営む方にきちんとやはり公開をして、こういうふうになる可能性が高いですよということを、経営者が予知できるような情報提供というやつをしっかりとやっていただいて、古くなったから同じ規模のやつを同じように造るという内容じゃなくて、先ほど池田主幹のほうからお話あったようにベビーホーム関係だと思うんですが、いろいろ集合体として同じような施設の中でやるんだという内容を聞きまして、そうかというふうにもちょっと思いました。

ただ、子供さんがいないことには、絶対にこれ持続可能ということにはならないわけですので、向こう5年程度、何とか持ちこたえたと。そこから先がぱたっと止まっちゃっ

たと。そういうふうにならないように行政指導をお願いしたいと。この1点に関してだけ、もう1回ご答弁お願いいたします。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 法人のほうには、今後の出生数などもお話をしていたところです。やはり園のほうでは、今後皆さんに選んでもらえる園になるよう、特徴ある教育・保育を行っていくということで、強い意志での建設、建て替えになります。

以上です。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 ありがとうございます。

今、上っている幼稚園さんは、やはり教育関係のポリシーをしっかりと持っていて、あの幼稚園に入りたいというふうなご父兄の方もやはりたくさんいらっしゃるの、よく知っております。なかなかいい幼稚園だと思います。それがやはり、共に河北町の中で事業として持続可能になるように、ご配慮を切にお願い申し上げまして、私の質疑終わらせていただきます。ありがとうございます。

○石垣委員長 以上で12番吉田芳美委員の質疑を終わります。

次に、「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 それでは、私より5点ほど質問いたします。

まず、43ページ、2款1項4目企画財政費、企画費のやまがたA I 部運営コンソーシアム負担金10万円。この事業というのはどういうものなのでしょうかということを、まず最初にお聞きいたします。

2点目、47ページ、2款1項8目まちづくり推進事業費の100万円、河北町内会除雪機購入事業費補助金であります。こちらは台数は何台ぐらい配属の予定かということと、あと3番目、67ページ、婚活支援事業委託料125万3,000円。この婚活事業ですけれども、

出られました成果をどのように分析されているのかなど、そこをお聞きしたいと思います。

それから、69ページの3款2項4目子育て支援センター費、こども家庭センター費の子育て短期支援事業委託料16万4,000円。この事業内容はどのようなものなのでしょうかということと、あと71ページ、4款1項1目保健衛生総務費、自動車購入費であります。373万4,000円。この自動車のことですが、これは例えば車両計画みたいなものに当てはめた計画に入っているものなのか、その辺をお聞きしたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 42、43ページの2款1項4目企画財政費の中の企画費にあります、やまがたA I 部運営コンソーシアム負担金でありますけれども、やまがたA I 部というものは、河北町の企業でありますIBUKIの元社長であります松本氏が立ち上げたものでありまして、山形県をA I のトップランナーにしたいという意図から、A I を進めるに当たりまして、高校生の部活動のような活動でA I に触れさせる機会をつくって、県の産業の振興の発展を図りたいという意図で始めたものでございます。

その趣旨に賛同しまして、県内の市、県と市は負担金を支出しているところであります。そのほかに賛同する民間企業も結構な会社が多分負担しているかと思います。そういった内容がありまして、町としましては高校生のそういったA I に触れる機会に大いに賛同したところでありますので、町村としましては、河北町と大江町のほうでこのA I 部の負担金を支出しているというような状況になっているものであります。

以上です。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 45ページのまちづくり推進事業費の河北町内会除雪機購入事業費補助金100万円の内容でございますけれども、こちらにつきましては2台分ということで計上させてもらっております。50万円掛ける2地区分ということで、補助率が事業費の2分の1で、上限が50万円ということであります。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 67ページ、3款2項1目婚活支援事業委託料についてであります。

こちらのほうは、社会福祉協議会のほうに委託している事業になります。成果の分析としましては、このたび婚活イベントを開催しまして、8組中3組がマッチングしているものがあります。今後、そちらは交際のほうに発展すればいいなと思っているところです。

その下の子育て短期支援事業委託料16万4,000円のものになります。

内容としましては、こちらは児童を養育している家庭の保護者が、疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった家庭を支援するための受入先と委託契約をしまして、児童の一時的な養育支援を行うものであります。親や親戚などが近くにおらず、誰にも預ける人がいない場合などに、契約している委託先で子供を預かってもらうという事業になっております。

以上です。

○石垣委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 70、71ページ、4款1項1目にあります保健衛生総務費の自動車購入費に関してでありますけれども、町の公用車、もう一般的な乗用車系の車になりますけれども、その更新につきましては企画財政課のほうで一応管理しておりまして、老朽化しているものから順次更新をしている

と、計画的に更新をして、財形のほうでもそういう計画を組んでやっているというものであります。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 ありがとうございます。

最初の2款1項4目のやまがたAⅠ部運営コンソーシアム負担金、私これは本当にすばらしい企画だなと、今説明を聞いて思いました。やはり若い方にこういう機会を、民間の方がそういうふうに立ち上げていただいて、それに対してそういう動きをしていく。この負担金というのは、市町村で同じような負担金になっているか、その負担金の金額はどのような割合で決められたのかということをお聞きいたします。

それから、先ほどの除雪機購入です。今年2台分ということで、6年度は2台分ということで計上されております。どのように町内会にこれを配置するという、その配置基準みたいのはあるのでしょうか。そちらをお聞きいたします。

それから婚活支援事業、私やはりこの婚活事業とても大事な事業だなと思って、やはり人口を増やしていくには最大の施策と思っておりますので、先ほど12番委員もおっしゃられましたけれども、若い女性の方が本当に少なく、この町には少なくなって、出ていかれる方が多いということで、やはりしっかり若い方を定住させていただくにも、こういういろんな企画をもつてのそういう施策を進めていただくということは、とても大事なことだなと思っておりますので。この企画の中に、例えば広域的な連携とか民間との連携などもお考えがあられるのか、その辺のところもちょうどお聞きしたいなと思っております。

69ページのこども家庭センターの子育て短期支援事業委託料16万4,000円。これというのは、先ほどの事業内容をお聞きしましたけ

れども、養育するのにちょっとできない方のサポートということをおっしゃられておりましたけれども、これはファミリーサポートとどのような関係につながっていくのかなと。そういうことはファミリーサポートのほうでもしっかりとなさっているような気がするんですけども、その違い、相違点というのはどういうところなのでしょう。

それから、車のほうは分かりました。車両計画によって古いほうから進められているというご説明でしたけれども、まずこの車種と、これはエコカーなのかどうか、そこら辺もお聞きしたいなと思っております。

○石垣委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 やまがたA I部の負担金でありますけれども、手持ち資料がございませんので私の記憶になりますが、山形県のほうでたしか200万とか300万とかだったと思います。県内の市のほうは、市長会のほうにA I部から依頼というか支援の要請をしております、市部のほうでたしか1市100万の負担だったというふうに記憶しております。河北町につきましては、松本氏と山大的担当の先生、一緒に見えられまして、そこで応援いただけないかというお話がございまして、町レベルなので10万円ぐらいどうでしょうかねという話が出まして、それで10万円としているところです。大江町も同じ10万円だったと記憶しております。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 除雪機の配置基準ということでございますけれども、要綱のほうで定めておまして、地域の共助による除排雪を推進し、雪に強く住みやすい地域づくりのため、町内会が除雪機を購入する事業を行う経費に対して補助金を交付するということになっております。この町内会でございます

けれども、町内会が単独もしくは複数で行う除雪機の購入についても対象とするという形にしております。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 婚活事業の広域連携についてでございますが、こちらは、やまがたハッピーサポートセンター、あと、むらやま広域婚活事業などで連携を図りながら、少子化に伴う人口減少に歯止めをかけるため、県内一体となって結婚支援の強化を行うことを目的として広域連携をしているものがございます。あと、ファミサポとの関係でございますが、ファミリーサポートセンターは一時的な預かりになりまして、もう一つの短期支援事業のほうは宿泊を伴っての預かり事業になります。以上になります。

○石垣委員長 「矢作健康福祉課長」

○矢作健康福祉課長 71ページの自動車購入費であります。この公用車につきましては、主に各種保健指導でありますとか健康づくり事業に使われるということを想定してありますが、環境に優しいハイブリッド車というものを想定しております。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 ありがとうございます。

先ほどの負担金の話、このような10万円という負担金で子供たちがこういう機会に触れていただくというのは、本当にありがたいなと思っておりますので、ぜひこの活動を進めていっていただきたいと強く思います。

それから除雪機、50%の補助率ということで、これまでは、じゃあどの地域に配属されたというのは分かるのでしょうか。そして今年は稼働はとても少なかったと思いますけれども、稼働率などはどのようになっているか、ちょっとお尋ねをいたします。

それから婚活事業、社協のほうに委託ということで、昨年度は3組のマッチングがあっ

たと。とても素晴らしいことだと思っておりますけれども、これはやはり、いろんな今マッチングをするための企画が様々な方法で行われておりますので、河北町らしいとか、そういうのも含めて様々な企画、これ企画力が問われるかなと私はいつも思っておりますので、民間のそういうノウハウを少し、ところどころお入れしていただいて、そういうものを利用されるのも一つの方法かなと思っておりますので、その辺のお答えもお願いいたします。

先ほどの子育て短期支援事業委託料、この16万4,000円という金額は、宿泊を伴う支援ということですが、この金額でどのくらいの方の委託を受けられる予定なのでしょうか。ちょっと金額がとても低かったのか、ちょっとこれはどうなのかなと私は思った次第です。

自動車、ハイブリッド車を購入される。これまで車両計画の中に入っている車は、何%ぐらいがエコカーになっているのか。そのパーセントは分かりますか。お願いします。

○石垣委員長 暫時休憩します。

休 憩 午前11時09分

再 開 午前11時14分

○石垣委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

ここで、11時30分まで休憩といたします。

休 憩 午前11時14分

再 開 午前11時27分

○石垣委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 大変失礼しました。町にあります公用車のうち、いわゆる普通乗用車になりますけれども、25台ありまして、そのうちハイブリッド車、環境に優しい車となっているのが、このたびの令和6年

度の健康福祉課の車両を更新しますと、それも含めまして10台が環境に優しい車になるというところであります。

○石垣委員長 「佐藤まちづくり推進課長」

○佐藤まちづくり推進課長 除雪機購入補助金でございますけれども、今年度につきましては、上沢南地区で購入ということになっています。

○石垣委員長 「池田子育て支援主幹」

○池田子育て支援主幹 婚活事業の民間との連携についてということでありましたが、先ほど申し遅れましたが、今回のイベント事業につきましても民間とコラボをして行ったものになります。町の地域資源を活用した、町ならではのイベントを企画してまいりたいと思います。

子育て短期支援事業の金額についてであります。こちらはショートステイ事業として、乳児院だったり寒河江学園などに委託するものになっております。人数的には2歳未満児が6人、2歳児が6人、3歳以上が6人、そのほかトワイライトステイ事業としまして日帰りになりますが、6人分の予算を見ているところであります。

以上です。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 ありがとうございます。

終わります。

○石垣委員長 以上で1款から4款までの質疑を終結します。

委員長から申し上げます。

昼食のため午後1時まで休憩とします。

休 憩 午前11時29分

再 開 午後1時00分

○石垣委員長 休憩を解いて再開します。

委員長から申し上げます。14番細矢誓子委員の質疑に対する牧野政策推進監兼企画財政課長の答弁で、訂正したい旨の申出がありますので、これを許可します。

「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 42、43ページの2款1項4目企画財政費のやまがたA I部運営コンソーシアム負担金の件で、山形県からの支援が300万円とお答えしたところですが、調べたところ600万円に訂正させていただきます。よろしくお願いします。

○石垣委員長 それでは、次に、5款から8款までの質疑の通告を求めます。

(3番、4番、6番、7番、9番、10番、11番、12番、14番の通告あり)

確認します。3番、4番、6番、7番、9番、10番、11番、12番、14番。落ちありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、「9番鈴木英友委員」

○鈴木委員 それでは、私から1件だけ質問させていただきます。

95ページ、7款1項4目観光施設費の中の4番、紅花資料館費ということで、指定管理料1,985万5,000円。同じく5番、道の駅河北費、指定管理料750万。続きまして、96ページ、97ページ、べに花温泉ひなの湯費、指定管理料4,500万。同じく96、97の7款1項5目商工施設費として、どんがホール費、指定管理料1,689万8,000円とあるわけなんですけれども、この指定管理料のそれぞれの指定管理者はどこになっているか教えていただきたい。これが1つ。

あと、それぞれの年度予算の考え方をどういうふうに、その考え方についてお知らせいただきたい。

そしてもう一つは、この予算については年度途中で、指定管理料ということなんですけれども、例えば補正とか変更というのがあるのかどうか、この算定について伺います。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 95ページ、7款1項4目観光施設費のうちの紅花資料館費の指定管理料、それから、5番の道の駅河北の指定管理料、あわせまして、97ページ、同じく7款1項4目のひなの湯温泉費の指定管理料、それから7款1項5目のどんがホールの指定管理料の算出についてでございます。

指定管理料につきましては、大きく分けて営利の見込める施設、それから公共性の高い施設ということで2つに分かれるかと思えます。まず固定費として、施設を運営するに当たりまして、人件費、それから光熱水費、それから外部への委託料といった主立った予算の内容でございますが、どれだけ支出が必要となるか。それに対しまして、どれだけ収入見込みがあるかといったところで、収支計画をつくりまして、指定管理料を算出させていただいておるところでございます。

2点目の指定管理の年度内予算ということでのご質疑かと思いますが、昨年、令和5年度におかれましては、年度途中、燃料の高騰、そういった影響もございまして、指定管理料の金額を増額補正させていただいたという経緯もございます。状況に応じまして指定管理者側と協議を進める中で、協議を経た上で指定管理料を増額するということは想定内とさせていただきます。

失礼しました。それぞれの指定管理者でございますが、まず、紅花資料館におきましては一般社団法人河北町観光協会でございます。道の駅につきましては株式会社べに花の里振興公社でございます。べに花温泉ひなの湯につきましては株式会社べに花の里振興公社でございます。どんがホールにつきましては、現在のところはNPO法人元気netかほくさんになっておりますが、令和6年度4月1日からにおかれましては、NPO法人かほくびとさんに指定管理をお願いすることになっ

ておるところでございます。

○石垣委員長 「9番鈴木英友委員」

○鈴木委員 ありがとうございました。

もう一つ質問の中で、この予算につきましては年度内において補正があるとか、変更があるということなのかということを、ちょっと付け加えてまたお聞かせいただきたいということが1つと、あと、もう一つついでに、それぞれの指定管理者に対しましては協定書を結んでいるわけなんですけれども、その協定書というのは年間なのか、それとも指定管理期間が5年ということですので5年分まとめてなのか、そこだけちょっと教えてもらっていいでしょうか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず、1点目の年度内の指定管理料の変更ということでは、先ほど申し上げましたが、いろんな状況に応じて、昨年のように燃料費が高騰したといった場合においても増額をさせていただいたという経緯もございます。

また、協定に関しましては、皆様議会のほうから指定管理の候補者としての議決をいただきまして、その後、基本協定という形で5か年の基本協定を結ばせていただいております。さらに、各年度ごと、年度協定ということで指定管理者側と協定を結ばせていただいております。

○石垣委員長 「9番鈴木英友委員」

○鈴木委員 そうしますと、例えば年度協定の中において、年度ごとに事業報告は受けていると思うんですけども、その内容によっては管理業務変動というか、あり得るのでしょうか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず、指定管理の候補者ということでの議決の際に、債務負担行為という形で5か年の債務負担行為を予算上起こさ

せていただいております。その際に、やはり去年に引き続き今年も電力等の高騰が見込まれるということで、当初予定していた指定管理料よりも増額した年度当初の予算とさせていただいております。さらに、また年度途中でいろんな事案があった場合においては、指定管理者側と協議をさせていただいた上で額の変更というのも想定されるところでございます。

○石垣委員長 「9番鈴木英友委員」

○鈴木委員 ありがとうございました。

終わります。

○石垣委員長 以上で9番鈴木英友委員の質疑を終わります。

次に、「10番林智委員」

○林委員 よろしくお願ひします。

それではまず、88ページ、6款2項1目林業振興費の中からお聞きしたいと思います。

まず初めに、鳥獣被害対策実施隊報酬とありますが、この内容と待遇等についてお聞きしたいと思います。

次に、同じく林業振興費の中になると思うんですが、熊捕獲用のおり4基、町で保有していると聞いていますが、そのうち1基壊れているというふうに聞いていますが、その辺の補修等々の内容どのようになっているのかもお聞きしたいと思います。

次に、90ページ、7款1項1目の中で河北発信事業費とあります。その中で、かほく魅力発信事業委託料とあるのですが、この中身についてまずお聞きしたいと思います。これも去年より増えているので、どのようにやっているのか現状をお聞きしたい、予定のほうをお聞きしたいと思います。

次に、92ページ、7款1項2目工業振興費についてもお聞きしたいと思います。この辺、工業団地のほうの企業誘致に関わる部分なのかなと思うのですが、今年度問合せがあった

際にも、令和2年の豪雨災害のときの土砂の仮置場等ということで、ちょっとすぐに対応できないということで断ったというようなお話も聞いています。また、過去にも工業団地という話があったときに、用地的に小さいということで断ったということなんですが、今後そういったことがないようにお願いしたいということで、誘致についてお話をお聞きしたいと思います。

あと、同じく92ページ、7款1項3目の中で観光総務費の中に入ると思うんですが、インバウンドツーリズム推進業務委託料などについて、どのようなところに委託しているのか、この辺もお聞きしたいと思います。どのようなところに委託して、どのような内容で計画しているのかをお聞きしたいと思います。

次に、96ページ、7款1項5目の中のどんがホール費なんですが、修繕費が昨年までの7倍ぐらいになっているのですが、なぜそのようになっているのか、これまで修繕しないで取っておいたのが今回の指定管理者の変更に伴うことによって出てきているのか、その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

次に、100ページ、8款2項2目道路維持費の中で街路樹管理業務委託料などありますが、例年シルバーさんに多分頼んでやっているんだと思いますが、毎年手入れのほう大変していただけて助かっていますが、やはり町なか、歩道を歩いていると、どうしても顔の高さまで枝が落ちてきていて、とても通行に危険とを感じるような部分が多々、何か所か見受けられますが、その辺どのように検討しているのか、今後の予定としてお聞きしたいと思います。

あわせて、104ページ、8款4項2目の中でも都市公園費の中でも街路樹管理ですが、中央公園の中のウォーキングコースというんですか、そこもですが、先日私もあそ

こを回らせていただいたんですが、全部とは言いませんが一部ですが、やはり顔の高さまでであると、グループである中をウォーキング、ランニングしているときに、どうしても目の高さにあると、とても枝先伸びていると危険というふうに感じています。その辺も来年度の予定についてお聞かせをいただければと思います。

最後に、106ページ、8款5項1目住宅総務費についてお聞きします。その中で河北町持家住宅促進事業費補助金、毎年とても好評だと聞いていますが、やはり例年、今の時期というのが一番仕事が、一番仕事があるわけではありませんが、これから春に向けてという方がいらっしゃっても、3月いっぱい事業が、工事が終わらないと対応にならないということで、対応していただけない方も何名かいらっしゃると聞いています。債務負担行為などそういった制度を使いながら、年度をまたいで処遇というか、対応できないのかについて検討をお聞きしたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「宇野農林振興課長併農業委員会事務局長」

○宇野農林振興課長併農業委員会事務局長 初めに88、89ページ、6款2項1目林業振興費の中の鳥獣被害対策実施隊員の報酬についてであります。

報酬につきましては、来年度18名を予定しております、年間3,300円の予定であります。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず、91ページ、7款1項1目商工総務費の4番の河北発信事業費の中の委託料ということで、かほく魅力発信事業委託料でございます。

こちらのほうは、都内で河北町の魅力を発信するための事業となっておるところであり

ます。来年度におきましては、せたがやふるさと区民まつり、それからみなと区民まつり、それから東京丸の内における青空市場、それからマルチカという地下の出店ということで、昨年よりも回数を増やして実施させていただきたいと考えております。

次に、93ページ、7款1項2目の3番の工業振興費の企業誘致に関わるることかと存じます。

昨年まで河川関係での土砂ということであったわけなんです、昨年1件、企業の立地の申込みをいただいたわけなんです、我々としても期待を持ちまして進めておったわけなんです、企業側さんの諸般の事情で取下げになったということでございます。土砂も全て撤去になりまして、今後も積極的な企業誘致活動に努めてまいりたいというふうに考えておるところであります。

同じく93ページ、7款1項3目インバウンドツーリズム推進業務委託料でございます。

こちらのほうは、委託先といたしまして地域商社かほくらし社への委託となっております。委託料の内容につきましては、地域おこし協力隊1名分を活用して企業のほうに委託型の地域おこし協力隊ということであります。インバウンドツーリズム、今後進めていく中で運営、それから営業、そういったもので活用できればというふうに考えておるところでございます。

続きまして、97ページ、7款1項5目商工施設費のどんがホール費の修繕料でございます。

基本的に修繕料の考え方といたしましては、経年劣化等による更新、修繕、そういったものを含めて年度ごとに予算規模が変わってくるところでございます。令和6年度におかれましては、自動火災報知機感知器の更新ということで約190万見込ませていただいております。

ところであります。あと、そのほかの30万につきましては急破修繕費といたしまして、急な修繕に対応できるように30万見込ませていただいたところでございます。

以上です。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 100ページ、8款2項2目街路樹の樹木管理の委託料のことについてでございます。

私どもも今から、4月から受託する方と協議しまして、うちのほうもある程度パトロールもしてその辺の指示もして、きれいに整備していきたいと思っておるところでございます。

また、同じ104ページの8款4項2目都市公園費の樹木管理につきましても、同じように今後受託者と打合せをして、なるべく迷惑のかからないように、走っても歩いても危険のないような管理をしていきたいと思っておるところです。

106ページ、8款5項1目の住宅総務費の持家の補助金ではございますが、こちら県のほうの事業も一緒にやっております、県のほうも年度内、3月10日まで実績報告を出さなければいけないということになっておりまして、今のところなかなか債務負担というのは難しいことだと考えておるところです。

○石垣委員長 「宇野農林振興課長併農業委員会事務局長」

○宇野農林振興課長併農業委員会事務局長 大変失礼しました。先ほど88、89ページ、6款2項1目林業振興費でありますけれども、実施隊員の報酬でありますけれども、3,300円と申し上げましたが3,000円の誤りでございます。

あともう1点、熊おりにつきましてですけれども、現在3基ございます。そのうちの1基が昨年の捕獲作業中に破損して、扉が片側開かないという状態であります。そうしたと

ころですので、来年度1基、新たに購入したいというような内容でございます。破損につきましては、扉が開かないという状態でありますので、決してそのまま使えないわけではないんですけれども、ちょっと修繕するにはかなり難しいといえますか、かなり頑丈なものですので、使えないわけではありませんで、場合によってはそれも使用して捕獲に携わっていく、かけていくということも考えております。

○石垣委員長 「10番林智委員」

○林委員 ありがとうございます。

この鳥獣被害対策の報酬ということで、1人3,000円ということですが、ちなみにその隊員さんの身分、身分という表現をしていいのか分かりませんが、どのような待遇になっているのか。例えば消防団であれば非常勤の公務員扱いというものもありますが、この隊員さんの身分等、どういうふうになっているのかをお聞きしたいと思います。

また熊の捕獲おりですが、1基購入ということですが、昨年度は今までにないほどの熊の出没ということで、壊れた分の1基の補充で実際に合うのか、もう少しそれを増やすという考えはなくていいのかというのを、併せてお聞きしたいと思います。

次に、90ページ、7款1項1目ふるさと発信事業のほうですが、首都圏でのPRということでよりいいPRを、河北町のPRをしていただければと思います。あわせてですが、せっかくそうしてやっていく中で、款項目違うんですが、先ほどほかの課のほうで河北町の定住促進のPRなども首都圏でやっているということなんですが、そういったところを連携などしながらやれば、よりよいPRになるのかと思うんですが、そういった考えはないのかも併せてお聞きしたいと思います。

92ページ、7款1項2目の工業振興費です

が、去年まで、今年度あった豪雨災害の撤去終わったということで、今後は問合せあればスムーズな対応ができるということで、何年かに1回という言い方は失礼なんですけど、いろんなPRをしてもらいながら企業誘致頑張っていたらいいと思うんですが、とにかくいただいたお話はなるべく断らないで受けて、より工業の発展というのが河北町の発展につながり、そして人口増へもつながる部分と思っていますので、とにかく誘致、立地、進出の問合せがあったときは断らないで、受けられるような対策をしっかりと取っていただけるようお願いしたいと思います。

92ページ、7款1項3目のインバウンドツーリズム推進委託料のところで、地域商社に委託しながら協力隊1名分の費用ということなんですけど、これは、この部分でも協力隊の方を1名雇用しているというふうに受け止めていいのかを改めてお聞きしたいと思います。

あと街路樹剪定のほうですが、いろいろパトロールしていただきながら、確認していただきながらやっていることだと思います。やはり生きている木ですので、幾ら剪定してもどんどん伸びてくるのは分かるんですが、歩いても顔にかかる高さ、やはりその歩道を自転車で乗られる方も実際いらっしゃいます。ある程度のスピードで行ったときに、枝先伸びていて目に入ってけがなんていうことになる、そういった管理料よりも多大なる負担が出てくる可能性もありますので、その辺の管理のほうだけはしっかりとさせていただけるような予算設計をしていただきたいと思います。ということで、再度お願いします。

○石垣委員長 「宇野農林振興課長併農業委員会事務局長」

○宇野農林振興課長併農業委員会事務局長 まず、鳥獣被害対策実施隊員の身分ということでありますけれども、こちらにつきましては地方

公務員法におきます、規定します非常勤の特別職というふうになってございます。

あと熊おりの増加ということでありましてけれども、昨年わなを仕掛ける際、いろいろ協力隊と共にわなを仕掛けていたところですけども、今の3基プラス1つ壊れていますけれども、その体制で、今のところはそれで手いっぱいというか、そういった感じでございますので、今のところそれ以上増やす考えはないということでございます。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず、第1点目の魅力発信事業の移住定住との連携ということのご質問かと思いますが、かほく魅力発信事業、都内3か所で回数も増やして来年度実施する予定でございます。こういった場を利活用するには、やはり横の連携を取って移住定住も含めたPRが必要だと考えております。所管外にはなりますけれども、移住定住のほうで旅費を予算計上させていただいた上で、連携を取って進めてまいりたいというふうに考えておるところであります。

それから企業誘致に関してでございますが、我々担当職員、断るということではなく、いかに誘致できるか、いかに寄り添った対応をできるかというところを心がけて誘致に努めているところでございます。新年度におかれましても、県外でのセミナー等に積極的に参加させていただきまして、誘致、立地できるように努めてまいりたいというふうに考えておるところでございます。

それから、インバウンドの推進事業でございますが、令和5年度からこの委託をさせていただいておりますが、残念ながら地域おこし協力隊募られていないという状況でございます。引き続き新年度も募集をした上で、かほくらし社のほうに委託にはなりますけれども、町も協力しながら努めてまいりたいとい

うふうに考えておるところでございます。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 樹木管理についてお答えします。

やはり安全というのが一番大事だと思いますので、今後も注意深くパトロール等しまして、また予算もそのようなことがないような予算組みをして、今後も管理をやっていきたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「10番林智委員」

○林委員 ありがとうございます。

まず、鳥獣被害対策隊員さんということで、身分は非常勤の公務員ということですが、やはり消防団のほうも非常勤の中で報酬の見直しになっている中、こういった鳥獣被害の隊員さん、やはり本業がありながらそういったときに協力してくださるということで、その辺の報酬等もしっかり見直ししながら予算のほうを組んでいただければなというふうに思っています。その辺、今後の課題としてでも結構ですので、ぜひ、やはり農家さんにしてみれば被害は大変なことだと思いますので、そういったときに協力してくださる方が減らないように、人数的には間に合っているのかもしれませんが、よりよい協力が得られるような対応をしっかりと今後検討していただければと思います。

かほく魅力発信事業でもそういった自分の課だけじゃなくて、ほかの課との連携大変すばらしいことだと思います。先ほどの中でも、ちえっと雪ふる河北町の女子会事業なども、例えばそういったところでPRしていただくことによって、こんなおいしいものが食えるのかということで、そこでちょっと移住体験してみようかなというのが増えたりもするかもしれませんので、そういったPRなども併せてやっていただければ、よりよい河北町

のPRになるのかと思いますので、併せてお願いしたいと思います。

一応お願いという形で質問を終わりたいと思います。

○石垣委員長 以上で10番林智委員の質疑を終わります。

次に、「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 私のほうから2点質疑をさせていただきます。

最初は、予算書94、95ページ、7款1項4目動物園費でございます。これについては一般質問で一部同僚議員からの質疑がありましたが、それとはちょっと違う内容で私のほうからちょっと質問をさせていただきます。改めて令和7年4月にリニューアルされる整備の内容と、そのリニューアルを行う目的を改めてちょっとお聞きしたいと思います。

もう1点、予算書104、105ページ、8款4項2目、いもこ列車の一般公開事業であります。これは、前年度が4月から11月の各月1日で8日間、令和6年度については8月を除いて3月から10月までの7日間を予定されているようですが、その公開日の設定、どういったいきさつで設定されているのかを、まずはお聞きしたいと思います。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 94ページ、95ページ、7款1項4目観光施設費の中の動物園整備費になりますかね。そちらのほうの、いわゆる児童動物園リノベーションに関わる目的、内容でございますが、目的といたしましてはにぎわい創出、それから情操教育といった主な目的でございます。これまでにいろんな会議の場でお示しさせていただいております。

改修内容につきましては、仮称ではございますが、ふれあい施設という形で、1階におきましてはふれあいコーナー、キッズスペース、それから動物の救護処置室、授乳室、そ

れからトイレのほかに小動物の展示スペース、こちらには小動物を提示する予定しております。2階につきましては憩いの場としまして、ワークショップなどで活用可能な多目的スペース、それからウサギなどの展示室、さらには飼育員室のほかに倉庫を2部屋設置する予定でございます。

また、ふれあい広場の整備につきましては、これまでの水鳥池跡地に新たなスペースといたしまして、屋外のふれあい施設ということで動物ができるような広場を設置する予定でございます。また、羊、ヤギといった餌やりなどのふれあいの体験の場とさせていただくことを考えております。

そのほかには、遊具、公園施設の再整備ということで、鉄棒などの更新はもちろんですが、カンガルージャンプ、それからちびこマウンテンなどの新たな設置を考えているところであります。

それからバリアフリー化ということで、園内の通路、アスファルト部分を拡張する予定でございます。さらには、ふれあい施設内にエレベーターを設置させていただいて、幅広い年齢層の方の利便性に努めてまいりたいと考えておるところであります。

最後になりますが、魅力アップ、それから発信力を強化するために、令和6年度で児童動物園のブランディングを担っていただく地域おこし協力隊を配置する予定でございます。

以上でございます。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 104、105ページ、8款4項5目、いもこ列車についての質問でございます。

公開日としましては、3月というのは実は今回ひなまつりが3月中に行われるということで、5年度のほうの予算になっておるところでございます。4月から10月までというこ

とで6回という形で公開をしています、一応ゴールデンウィークはこどもの日ということや、べに花マラソンに合わせた日程、またはどんが祭りですとか、かほくほくほくまつりに合わせた日程ということにしております。5年度、ちょっと8月と11月もやったところだったんですけども、8月はちょっと暑過ぎてなかなか乗る方も大変だということと、11月はちょっと寒くて機械に負担がかかるということで、ちょっとそこは抜かせていただいて、また令和5年度としましてはかなり取材が来まして、そのときもちょっと臨時に運行したりしていますので、その辺のことも一応見込んでいるところでございます。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 ありがとうございます。

ちょっと再質問させていただきます。

まず動物園の件なんですけれども、執行部の課長の答弁のほうから予測すると観光が主目的なのか。要は改めてお聞きしますが、動物園の運用の主目的というのは観光なのか、教育なのか、それともそのほかなのか改めてお聞きしたいのと、この事業については、ターゲット、要は子育て世代なのか、観光客誘致のためなのか、そのあたりを再度お聞きしたいと思います。

また、いもこ列車一般公開事業についても改めて再質問させていただきます。この公開日は昨年、祝日も含めた日曜日が主にされているかと思うんですけども、今回6年度は日曜日ですね。その設定というのは前年を踏襲しているような形になっていますか。そのあたりを再度お聞きします。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 児童動物園の主目的でございますが、先ほど私のほうから答弁させていただきましたが、にぎわい創出という点では観光も含めたにぎわい創出というふうに考え

ておるところであります。さらには情操教育の一環ということで、動物の愛護も含めた形で施設ということでもあります。予算上も観光費の中で位置づけておるわけなので、観光が主な目的というふうにも捉えられるのかなと思っております。もちろん子育て世帯なのかというところではありますが、やはり我々考えているのは、児童動物園、名のとおり児童動物園であります。子供さんにたくさん来ていただく。それにはもちろん親御さんもついてくると。そうした上では、にぎわい創出に結びつくのかなというふうに思っております。さらには小動物が多いわけですので、3歳未満のお子さんが初めて動物園を訪れる場という位置づけで、未就学児が動物園デビューするようなイメージを持った動物園にやっていきたいなというふうに思っているところであります。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 いもこ列車の公開日についてでございます。やはり町のイベント、先ほど言いましたように、ひなまつりですとかどんが祭り、またはべに花マラソン、ほくほくまつりなど、そのようなイベントに合わせてやっているところが多いですので、ほぼほぼ前年度踏襲という形で予定は組んでいるところでございます。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 改めて再質問させていただきます。

まず、動物園のことで改めて再質問なんです、子育て世代等、お子さんがいっぱい来られるような形でにぎわい創出ということがありましたが、たしか令和5年5月の全員協議会の場で、こちらの費用を捻出するためにクラウドファンディングという説明がありました。その現在の進捗、それと今後の見通し、そのあたりの状況を再度お聞きしたいと思います。

また、いもこ列車一般公開についても再度ご質問させていただきます。おおよそ町のイベントに合わせて公開されているということで、前年踏襲だろうという答弁がありました。例えばひなまつりなんかは2日間やりますよね、30、31日、今回。令和5年度になりますけれども。また、例えばこどもの日なんかは大型連休が入っています。3、4、5とかですね。あと、どんが祭りも今年度であれば、9月15日に公開されるのであれば、例えば14、15、16ということだと思える可能性はあるということだと思えるんですね。そういった先ほどの課長の答弁の中にもありました、非常にメディアからも一応取り上げられて、注目度の高い公開事業ということであれば、例えば土日も含めた連続してやるとか、お祭り中はいもこ列車も公開しますとかいう形でのお考えはないのかどうかをお聞きしたいと思います。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 児童動物園ふれあい施設のいわゆる財源ということのご質疑かと思えます。ガバメントクラウドファンディングの活用は、令和6年度において予定しておるところであります。金額については、今後検討を進めた上で額のほうを示してまいりたいというふうに考えておるところですが、時期につきましては10月ぐらいをめどに開始ができればなということで、関係する業者のほうとも現在話を進めさせていただいておるところでございます。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 いもこ列車の公開日の連続して2日間、土日ですとか、連休あるときは連休に合わせてということのご質問ですけれども、今のところ2日続けてというのを考えたことがなかったので、今後検討はさせていただきますが、やはり運転士の方も高齢です

ので体力等もちょっと鑑みて、いろいろ検討させていただきたいと思います。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 ありがとうございます。

再度質問させていただきます。

動物園事業について、クラウドファンディングについてですが、もともとの予算ありましたよね、1,500万ですか。これのほかにクラウドファンディングで資金を募る、財源を募るということの受け止めでよろしかったですか。

もう一つ、いもこ列車の一般公開事業で再度お伺いします。やはりにぎわい創出の観点から、ぜひやっていただきたいと思っているところではございますが、例えばやっぱり条件が整わないとかいうことは確かにあると思います。運転士の確保、整備する人の確保とか、そういった条件が整わない場合があると思いますが、条件が整った場合は実施いただく方向で前向きに検討いただけるのかどうか、改めてお聞きします。

すみません、ちょっと発言取消しをさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。クラウドファンディングの予算というのは、動物園の予算費の中に含まれて考えていらっしゃるものなのかどうかをちょっとお聞きしたかったんですが、すみません。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 ガバメントクラウドファンディングの予算については歳入で見込まれることから、現在のところ額の設定もさせていただいていないので、まだ予算に計上する状況ではございません。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 いもこ列車の公開についてでございます。先ほども申したように、いもこ列車の運転士の高齢化、またスタッフの不足等々でなかなか難しい現状ではあります。

なので、ちょっと前向きに検討しますというのをちょっと今言えないので、その辺はご勘弁いただきたいと思います。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 先ほどは大変失礼いたしました。

まず動物園については、ぜひ進めていただいて、山形県内で唯一の動物園ということで、ほかの市町村の方からも認知されている部分がありますので、進めていただければと思いますが、動物園のことで再度ちょっと質問させていただきます。先ほども申し上げたとおり、山形県唯一の動物園ということでインパクトはあると思うんですね。その観点から、ここ最近、公共施設を命名権ということでネーミングライツを募集する事業が県やほかの市で行っていることが見受けられます。

例えば山形県の総合運動公園の陸上競技場は、南陽市の企業のNDソフトウェアさんが命名権を取得して「NDソフトスタジアム」ということをつけているような形ですし、山形県の野球場なんかは、山形市の企業でヤマリョーさんがネーミングライツ、命名権を取得して「ヤマリョースタジアム山形」ということをつけている。また、同じく山形市のあかねヶ丘陸上競技場は、ネットトヨタ山形が命名権を取得して「ネットえがおフィールド」という命名をされている。それと、山形市の南部児童遊戯施設、これは山形市のシェルターという住宅リフォームを手がける会社さんが命名権を取得して「シェルターインクルーシブプレイスコパル」という、何かちょっと横文字が難しい命名を行っている。また、同じくシェルターさんが南陽市の市民文化会館、これを命名権取得して「シェルターなんようホール」ということで同様に命名権を取得している。

ネーミングライツの目的というのは、民間企業の自由な発想を取り入れるということと、

企業側としては商品名、企業名がその施設につけば宣伝効果がある。また、その愛称をつけたことによってその施設の維持管理に貢献できる、寄与できるという側面があると思いますが、そういったネーミングライツ、要は河北町児童動物園をネーミングライツを募集するというようなお考え、令和6年度中にはないのかどうか、最後お聞きしたいと思います。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 児童動物園ふれあい施設のネーミングライツのご質疑かと存じます。ネーミングライツにつきましては、制度につきましては承知しているところでございます。このたび予定しておりますリノベーション、ふれあい施設、仮称ではございますが、ふれあい施設ということで設置をする予定でございます。このふれあい施設に企業名が入ることとすれば、果たしてどうなのかなと。ふれあい施設に沿った一般公募で、より優しいネーミングのほう、私的にはそちらのほうが合っているかなと思っております。現在のところ、一般公募によるネーミングということで考えておるところであります。

○石垣委員長 「11番奥山英幸委員」

○奥山委員 ありがとうございます。

ぜひ、先ほども申し上げたとおり山形県唯一の動物園ということで、インパクトは強いかなと思いますので、今後そのようなこともぜひ検討いただいて、私の質疑を終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

○石垣委員長 以上で11番奥山英幸委員の質疑を終わります。

次に、「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 私のほうからは、4点質問させていただきます。都市整備が1件、あと商工観光が3件になります。

まず、100ページ、8款2項3目道路新設、下野真木線、4,800万円の一応令和6年度の予算がついていますが、令和5年の段階で進捗率がどの程度になっているか。そして、もうかなり着工から年月が経過したと。そして、議案調査の中では完成予定が令和10年度だと。距離的には700メートル足らずぐらいのところに10年もかかるのかと。一般質問のいろんな同僚議員のほうからも質問あったように、やはり産直に向かって走ってくるような道路整備、これがやっぱり町の観光にはいいんじゃないのと。あと、道の駅からの展望で、あそこがひなの湯ですよ。あそこが町民プールですよ。そういうふうな観点から立ったときに、ただ単に道を造っているわけじゃ決してないので、もっと早期にやっぱり造るような考えでご検討していただけないかということをお聞きしたいと思います。

あと次に、97ページ、商工観光課7款1項5目源泉調査委託料。ひなの湯の源泉調査委託料107万円。これ具体的にどの程度までの調査が107万円になるのか、具体的にお示しください。非常に、一般質問でも申し上げましたが、いつ何どき何があるか分からないという状況は行政のほうも感じ取っていただいていると思うんですが、もう37年経過したと。それを踏まえれば、地中700メートル近く埋まっているところに、380メートル辺りのところに亀裂があるかもしれない。そこで2度、3度、地下水が浸入しちゃって温度低下の原因をもたらしているということもつかんでいるわけですので、その107万円で本当に、年内調査終わっちゃって、そして、掘るにはやはり2年、3年ぐらいの準備期間なんかを考えれば、ひなの湯25周年記念で着工するぐらいの、私は予算でいくのかなと思っていましたが、107万円になっている。この辺のところをちょっと鑑みて、どこまでの工事状況を

考えているか、そういったやつをちょっとお聞かせください。

あと次に、95ページ、商工観光課、動物購入、オニオオハシを76万8,000円で一応購入しますよという話をお聞きいたしました。オニオオハシというのも私全然分かりませんでしたので、いろいろちょっと調べてみました。鳥ですよ、南米産の鳥。体長が約40センチぐらいと。そして、くちばしが約20センチぐらいだと。それを1匹買ってきて、新しくなったところに一応それを飼育すると。そして見ていただきたいと。非常に物珍しい鳥かなというふうな雰囲気はちょっと持ちました。やはり南米産の鳥をこの山形に、本当に気候的に合うのかなというふうなことを心配しました。多分小さいおりか何かに入れるのかなと思いました。本来だったら、鳥はやっぱり自由奔放に飛んでいただければ一番いいんですが、そんな施設がそこの中では当然造れないと。そして先ほどのお話にあったように、児童動物園という観点からしたときに、くちばしが長いやつが幼児が触ろうとしたときに、つつくんじゃないかなというふうな不安も持ちました。あと、当然鳥インフルエンザという内容も気になりました。そして、新しい剥製館の代わりにある施設が、鳥がそこに居座るわけですので、本当に室内の空気洗浄がきちんと保たれて、アレルギーの子供さんとかそういったところに心配がないのかなということも思いました。

76万8,000円という値段、これネットなんかで見ると30万円からとなっているんですよ。どこをどうやって76万円の値段になっているかというふうな内容についても具体的にお聞きしたいと。そして76万8,000円で終わればいいんですが、その後、室内を整備するんですよ。冷暖房もつけるんですよ。あと何だかんだという内容が、附帯的な飼育す

る上での備品関係、これが結構やっぱり私にかかるんじゃないかなというふうに思います。オニオオハシに決めたという所管のほうの決定事項というか、検討中だと思うんですが、内容についてお聞きしたいなというふうに思います。

あと最後、91ページ、7款1項1目、先ほど同僚委員のほうもお聞きになりましたが、河北町の魅力発信事業委託という内容で、首都圏で6回ぐらいのイベントを開催して、河北町の魅力を発信するんだという内容をお聞きいたしました。去年の多分秋だと思ったんですが、東京の丸の内、そちらのほうでイベントが開催されました。うちの娘がすぐ近いものですから、お伺いしました。そうしたときに、山形の河北町の方が皆さん行かれるわけじゃ多分ないんじゃないかと思うんですが、アルバイトの方でした、対応していただいた方は。うちの娘は河北町出身なんですよというふうに言いましたが、全然話が通じなかったと。だから、お父さん、あんなあれでは駄目なんじゃないのと、もっと河北町のことを知っていただいて東京生まれの方が対応していただけるんだったらいいんだけど、全然訳も分からないような人が対応するんだったら、あんまりうまくいかないんじゃないんですかというお話をされました。やはり200万近くのお金をかけて6回開催する、これ回数には問題じゃないんですが、やはり魅力発信につながるように、東京の方をもしそのときにバイト的に使うんだったら、河北町のことについてある程度知っていただいてアピールしていかないと、お金がやっぱりもったいないと。そのことについても、どのような人材を配置して魅力発信事業を委託するのか。委託に関してどこまで任せているのか。そして、結果報告はどうだったのか。その辺のところをちょっとお聞かせください。

以上です。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 100ページ、101ページ、8款2項3目道路新設改良費の補助になります。

下野真木線のほか1路線道路改良工事の件についてですが、進捗率としては事業費ベースで約40%となっております。令和10年を完成をめどに事業を実施しているところではございます。ちょっと遅れている、遅いかなという委員のほうからありますが、やはり補助事業ということもありまして、補助金の内示等、交付決定等の金額や、あと用地関係につきましても未相続でなかなか進まないところもございます。そちらのほうもいろいろ全力を尽くしてやっているところですので、なるべく早めに完成して、道の駅からひなの湯、または産直を結ぶ大事な路線ですので、できるだけ早く完成を目指していきたいと思っていますところでございます。

以上です。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず91ページ、7款1項3目魅力発信事業の、いわゆる委託事業の中でのアルバイトの対応ということでございますが、この事業に関しましては、河北町商工会のほうに委託をさせていただきまして、もちろんスタッフの旅費、人件費、それから会場費等々含めて、4か所で行うというような事業でございます。その中にはアルバイトの人件費も含まれていると承知いたしております。

委員おっしゃるとおり、アルバイトに関しましては、やはり河北の魅力を発信する上で、もちろん河北町のPRが必須になってくるかと思っています。その辺は十分注意しまして、魅力を伝えていただくように、こちらのほうからも指導させていただければと思っています。また、こちらの会場のほうには、我々職員、それから委託先の商工会の職員も出向い

と一緒に販売を、PRもさせていただいておるところであります。職員もアルバイトの対応については十分注意しながらPRをしていければなというふうに思っておるところでございます。

続きまして、95ページ、7款1項4目動物園費の動物購入費76万8,000円でございます。総務産業常任委員会でもお話しさせていただきましたが、オニオオハシという南米産の鳥の購入を予定しております。委員おっしゃるとおり40センチほどの鳥でありまして、くちばしが非常に特徴ございまして、20センチ、色鮮やかなくちばしであるというところであります。

この鳥の選定におかれましては、我々なかなか素人的なところもございますので、関係者のほうに新たなリニューアルする施設内で展示する鳥、動物という観点からいろいろご助言をいただきまして、このオニオオハシにつきましては触れ合いも可能だということで決定させていただいたところであります。もちろん施設につきましては1階の展示室、オニオオハシ専門の展示室を考えておるところでございます。もちろん鳥インフル等となれば、鳥に関しては展示できないと。放鳥舎も含めてになりますけれども、そういう規制がございます。そういったときには十分対応しなければいけないということと、それから、触れ合いしたときに子供さんが手をかみつかれないように、そういったところにつきましては、今後購入いたしまして、飼育していく上で十分注意してやっていければなというふうに思っておるところでございます。

続きまして、97ページ、7款1項5目のべに花温泉ひなの湯の源泉調査委託料107万8,000円でございます。この調査につきましては、町内約8か所のこれまでの地下水の数値のデータを基にしまして、候補地の選定を

するという内容でございます。それだけでは足りないのではないかとということではございますが、まず、この事前調査がなければ候補地として選定はできないものと考えております。いきなり掘って当たるか当たらないかということではなく、まずそういったデータに基づいて事前に調査をした上で、その場所の選定も含めて検討する必要があるという観点から、令和6年度におかれましては、この調査費を計上させていただいたところでもあります。これを基に、今後の整備計画も含めて進めていくというところでもあります。ただしデータ調査でございますので、実際に掘ってみたところ希望の温度、湯量が出るのかと言われると、そうではないと思います。近隣市町におかれましても、新源泉を掘ったところ温度が取れない、湯量が少ない、こういったケースは非常に多くなっているという聞いております。そうした観点から、まずは町内で見込めるデータの調査をした上で、今後進めてまいりたいというところで、令和6年度においては調査費を計上させていただいたところでございます。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 ありがとうございます。

まず、下野真木線ですね。地域の人にはひなの湯バイパスというふうに言い始めた人もいるんですが、とにかく工事が実際に始まるのは12月、1月、2月ぐらいなんですよ。あとは全然工事しないんですよ。農家の人は4月から農作業でいろいろするからという、これも十分分かります。でも、あまりにもやはり遅過ぎると。そして、国の交付税が落ちてこないからだというやつはスタートする前からもう分かっている。やはり道が開ければ、そこは必ず活性化につながってくるんですよ。こんな5,000万足らずの予算でもってなかなか前に進展しないというやつは、すごくやっ

ぱり私はもったいないと思いますし、既に40%の消化率だと、進捗率だというんですから、やっぱりあと2年、3年ぐらいの中で完成にこぎ着けるぐらいまで、ちょっと頑張っていたきたいなというふうに思います。この件に関してはちょっと、後ほど町長のほうからお話いただければ幸いです。

あとオニオオハシ、これ20年ぐらいやっぱり生きるという鳥らしいんですね。何歳ぐらいのオニオオハシを連れてくるのか分からないけれども、なかなか20年間、本当に頑張ってこの動物園の中でちゃんと飼育できるかということも、きちんとやっぱり考えていただければと思います。そして、いろいろネットなんかで見ますと、ふんが結構軟らかいふんだということで、常に水洗いできるようなきれいな環境を保たなくちゃいけないというふうに一応書いてありました。入れ替わり立ち替わり様々なお子さんが来たときに、下にふんがべちゃべちゃとあるような環境では、これ誰もやっぱりきれいな環境だなということなんかも多分言わないと思うし、ここにしなさいよというふうにオニオオハシに言たって聞くわけでないし、上からみんなぼたんぼたと垂れ流すという状況なんかもあると。そして、どの程度のおりに入れようとしているのか。やっぱりあんまり小さいと動物虐待にもつながってくると思うし、飛べるような環境、こんなでっかい環境はなかなかつくれるわけでもないと思うし、皆さんから批判がないような鳥の飼い方ができるのかということ、ちょっと勉強した内容を教えていただきたいと思います。

あと首都圏のほうのやつに関しては、やはりきちんと私は、アルバイトであったにしても山形県の河北町がどこにあるんだと。そしてどういうふうな町にあるんですよということをしつかりと教えていただいて、バイトさ

んであろうと誰であろうと、みんな河北町の人わざわざ東京に出てきて、そこで売っているのかというふうに思って立ち寄ってくださるということをしっかりと考えていただければと思います。回答のほうお願いします。

○石垣委員長 「土方都市整備課長」

○土方都市整備課長 8款2項3目。下野真木線ほか1路線の道路改良工事でございます。

委員おっしゃるとおり、当初からなかなか交付金つかないところではございました。今できることをやりまして、本当に早めに完成できるよう頑張っていきたいと思います。

以上です。

○石垣委員長 「森谷町長」

○森谷町長 事業の早期効果ということで言えば、やっぱり事業の進捗というのは大事なポイントかなというふうに思います。それは私も問題意識としては持っています。ただ、いずれにしてもこのスキームで取りかかっている事業でございますので、まずは財源確保というのは非常に大事だと思います。そこは私としても、できる努力をしていきたいというふうに思います。

以上です。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まずオニオオハシの展示のスペースでございますが、約3メートル掛ける2メートルぐらいのおりと考えております。こちらのほうは、オニオオハシの飼育を想定した敷地ということで設計させていただいたところでもあります。なお、オニオオハシの管理、飼育につきましては、やはり展示スペースにあるということで、もちろんふんの処理等については十分注意しながら飼育していくことが必要であると。現在も飼育員の方がしつかりと飼育しておりますので、オニオオハシについてもしつかり飼育をしていただくというふうに考えておるところであります。

魅力発信につきましては、ご指摘のとおり、十分注意を払ってPR活動に努めてまいりたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 おりなんです、もう常に冷暖房を365日24時間入れっ放しの状態で保つというふうに理解してよろしいわけですか。何度ぐらゐの設定ですのか。そして、そこにかかる管理費というのはどの程度見込んでいるわけですか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 管理費につきましては、現在のところ積み上げておらない状況でございます。令和7年度オープンに向けて、管理費等については予算のほうを計上させていただきたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 その辺もしっかりとフォローアップをお願いしたいと思います。とにかく、くちばしが20センチも長い鳥というのは、必ず俺つつくんじゃないかなというふうに心配するんですよね。まさか、つつかないように猿ぐつわして、そこにマスクみたいなやつをするなんてことも当然いかないわけです。本当に児童動物園に合った動物なのかということを検討していただきたい。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 オニオオハシにつきましては、オニオオハシのくちばしというのは非常に特徴がございます、自分の体内の温度管理ができるくちばしになっております。この選定については、現在、学芸員として会計年度任用職員、元仙台八木山動物園の副園長の阿部さんからいろいろとご助言いただく、それから仙台市の動物の専門学校でも飼育なされていると。そういったところを踏まえまして、総体的にオニオオハシの選定をさせていただいたところでございます。

○石垣委員長 「12番吉田芳美委員」

○吉田委員 一応分かりました。ただ、私的にはオニオオハシも非常にいいんですが、あの程度のやつだったら例えばオウム、動物園にいらっしゃいとかお話をしていただいたほうが子供さん非常に喜ぶんじゃないかなというふうにも思いましたので、その辺も併せて適切な動物になるようにお願いしたいと思います。終わります。

○石垣委員長 以上で12番吉田芳美委員の質疑を終わります。

ここで2時30分まで休憩とします。

休 憩 午後2時15分

再 開 午後2時28分

○石垣委員長 休憩を解いて再開いたします。

委員長から申し上げます。

10番林智委員の質疑に対する宇野農林振興課長の答弁で、訂正したい旨の申出がありますので、これを許可します。

「宇野農林振興課長併農業委員会事務局長」

○宇野農林振興課長併農業委員会事務局長 大変失礼しました。先ほど6款2項1目、熊おりの件でございますけれども、現在4基ございます。そのうち1基破損しております。来年度1基購入予定ということで、よろしくお願いいたします。

○石垣委員長 それでは、5款から8款までの質疑を続けます。

「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 では、お願いいたします。

4点ほどお聞きいたします。

最初に、89ページ、6款2項1目林業振興費の森林自然解析業務負担金136万4,000円のことでございます。先日の調査のときに、令和5年度にレーザー測量を行っており、それらの解析に伴う負担金という事業内容の説明がございました。この解析資料を今後どのよ

うに活用されていかれるのか、その点をお聞
きいたします。

91ページ、7款1項1目商工総務費、かほ
く魅力発信事業委託料195万9,000円、先ほど
10番委員、12番委員も質問されておりました
けれども、別な観点から質問いたします。首
都圏において開催される6回に参加して、河
北町の魅力を発信したというふうに説明がご
ざいました。6年度は、昨年行われました開
催場所から新しく増やしていくという開催場
所はどのようなものがあるのか、ちょっとそ
こら辺をお尋ねをいたします。

93ページ、7款1項3目観光費、観光振興
費の広告料150万9,000円です。この広告料の
内容はどのようなものかお伺いいたします。

同じく95ページ、7款1項4目観光施設費、
動物園費です。12番委員も質問されておま
したから、別な観点のほうからお尋ねいたし
ます。この動物借上料44万円。この内容につ
いて、どのような種類のものを借り上げてい
るのか、その内容をお知らせください。お願
いいたします。

○石垣委員長 「宇野農林振興課長併農業委員会
事務局長」

○宇野農林振興課長併農業委員会事務局長 初め
に88、89ページ、6款2項1目林業振興費の
中の森林環境譲与税事業の中にあります森林
資源解析業務負担金136万4,000円について
のお尋ねでございます。

こちらのほうは上空から測量しております
ので、そちらについて、例えばこれから森林
管理業務をしていくに当たりまして、どうい
った樹木の種類があるのか、そういったもの
を特定しまして、いわゆるそこから利益が出
るのかとか、そういったところを見計らいな
がら管理業務の計画を立てていくと。そちら
に活用していくという内容でございます。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 91ページ、7款1項1目商
工総務費の河北発信事業費の中のかほく魅力
発信事業委託料の質疑でございます。

令和5年度から令和6年度に向けて新たな
開催場所ということでは、世田谷区にござい
ます、せたがやふるさと区民まつりという祭
りに参加する予定でございます。このふるさ
と区民まつりにつきましては、町内出身者
の方からいろいろとご協力いただきまして、せ
たがや区民まつりが開催されると。そこでは
全国各地からいろんな物産PRを行っている
と。世田谷区には三軒茶屋にあります「かほ
くらし」、アンテナショップがあるというこ
とで、この祭りに参加するに至っては、世田
谷区といわゆるゆかりがあるといえますか、
関係があるという市町村しか参加できないこ
とになっておるようでございます。山形県か
らは舟形町、それから令和3年ぐらいまでで
したか、尾花沢市といったところが参加して
おるようですが、現在のところは舟形町とい
うことでございます。既に世田谷区役所のほ
うと事前に協議させていただきまして、来年
度の出店におかれましては許可をいただい
ているような状況でございます。

続きまして、93ページ、7款1項3目観光
費の観光振興費の広告費のご質疑ございま
す。

こちらの広告費につきましては、山形空港
の看板と、それからさくらんぼ東根駅の看板
の広告費になります。そのほかに令和5年度
から取り組んでおります、いわゆるSNSで
のパナー広告ということで、年間4回、谷地
ひなまつり、べに花まつり、谷地どんがまつ
り、ふゆまつりといった年間4つの祭りにつ
きまして、ユーチューブ、それからインスタ
グラムで、紙媒体ではなくSNS上での効果
のある周知方法ということで、広告料を見込
んでおるところでございます。

続きまして、95ページ、7款1項4目観光施設費内の動物園費の動物借上料でございます。

こちらのほうは、例年8月上旬に開催させていただいております「よるのどうぶつえん」ということで、うまいもの横丁と連携した事業という形で取り組ませていただいております。今年度に関しましては、よるのどうぶつえんの際に触れ合うために、フクロウ関係ですね。名前申し上げますと、コキンメフクロウ、メンフクロウ、ユーラシアワシフクロウ、シロフクロウ、ベンガルワシミミズク、ユーラシアワシミミズクといった6羽のフクロウを、いわゆる夜行性でございますので、よるのどうぶつえんで触れ合っていたくために借上料を見込んだところでございます。

以上です。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 ありがとうございます。

森林解析業務負担金はよく分かりました。これからいろんなものに活用されて、森林を開発されていかれることを期待します。

河北発信事業委託料、せたがや区民まつりのほうに初めて参加されるということのご説明でございましたけれども、私今まで何回もこちらの魅力発信事業というのは、これまでも行われてきたと思いますけれども、このイベントをした効果などはきちっと分析されておられるのでしょうか。それで、それを分析されたものをどのようにこれから活用されていかれるのか。そのようなことも伺いたしたいと思います。

広告料のほうですけれども、山形空港、東根駅、バナー広告等に使われているという説明でございました。私前回も質問したと思いますが、東根駅の展示なんですけれども、河北町の展示なんですけれども、私あその通路を見たときに、あまりその展示に配

慮がないというのはいつも感じていたんです。やはりもっと河北町、もっとPRできるやり方があるんじゃないかと。そこには、やはり谷地高校生の美術関係の方とか、芸工大の学生さんの協力なんかも考えれば、まだまだあそこは新幹線の入り口ですので、河北町に入ってくる入り口ですので、その辺ももっと力を入れてやっていただいたほうが、この予算が生きてくるんじゃないかと思っておりますけれども、そちらの考え方をお聞きいたします。

動物の借上料、分かりました。これはよろしいです。今やった質問にお答えください。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 まず、1点目の魅力発信の分析でございます。これまで、埼玉県さいたま市大宮駅前で行っていた「まるまるひがしにほん」、それからみなと区民まつり、いろんな会場でさせていただきました。最初は、まるまるひがしにほんのほうで年3回という形で開催させていただきましたが、一昨年ですかね、みなと区民まつりというところで非常に効果があると。さらに、東京丸の内のマルシェ等に関しましても非常に売上げ、それから集客、そういったことを踏まえまして、会場をいろいろと変えさせていただいております。このせたがやふるさと区民まつりにおかれましても、相当数の来客が見込まれます。そうしたところを加味いたしまして、今回この3会場で実施させていただきたいということで計上させていただいたところでございます。

それから広告料でございますが、まず、さくらんぼ東根駅の展示スペースの活用ということでございます。ご指摘のとおり、やはりちょっと魅力に欠けるといったご指摘もこれまであったと記憶しております。今後も、展示するもの、それからポスター等も含めまし

て、河北町の目に引くようなものを展示してまいりたいと考えておると、新年度で観光のブランディングという形で地域おこし協力隊1名配置する予定をしておりますので、その辺の活用も含めまして、令和6年度に魅力ある展示ができるよう努めてまいりたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 とても力強いお答えをいただきまして、私少し安心したんです。やはり東京です。様々な方がいらっしゃいまして、山形県河北町という名前を聞いただけで浮き浮きする方もたくさんいらっしゃいます。そこで方言を聞いたり、おいしい、懐かしい、そういう物品なんかを見ると、本当に力強く河北町を応援したいと思う気持ちが湧くというのは、とても効果のあることだと思いますので、ぜひいろんな施策をして、いろんな考え方を持っていて、しっかりポリシーを持って、この事業を進めていただきたいと。これままだ可能性のある事業だと思いますので、よろしく願いいたします。

駅のほうの展示なんですけれども、やはりただポスターを並べておくというだけではなくて、テーマをきちっと決めて、例えば春だったらこれを河北町はやっていますというもの、をきちっとテーマを決めて、そういう絞っているんなものを工夫されるというのは、やはりこれから視点としては、私はそういうところが大事だなと。ただ、べたべたポスターを貼るだけではないという、そういう仕掛けをしっかりとつくっていただければありがたいと思います。

それで、今、ルート48号線のところに河北町の看板がございます。私あれを仙台から来るとき見たとき、すごくうれしくなるんですよ。そういう看板がやはりあるということが、私たち河北町に住んでいる人もそういう

ふうに思われる方も多いと思いますけれども、新しく河北町に入ってこられる方も、とてもすてきな看板でというふうに思われて、どんなところかしらと思いをもちながら河北町にお越しいただく方もいらっしゃるかなと思っておりますので、これをルート287辺りにもう1か所設けるという計画はございませんでしょうか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 魅力発信事業の看板設置になるかと思いますが、これまで国道48号線の仙台寄りのほうに、肉そば、それからベニバナといった看板のほうを設置させていただいております。仙台圏から来られるお客様、それから山形から行かれたお客様からも、非常に盛りだくさんだ、目立つような看板だということで評価をいただいております。ただ、新たな物件ということでは、現在のところちょっとリサーチもしておりますが、大分空いているところもあるようですが、ほかの山形県内の市町村でも、大分看板を大きくしたり増やしているところもございますので、その辺は状況を確認しながら検討してまいりたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「14番細矢誓子委員」

○細矢委員 本当にしっかりそういうPRに力を入れて、河北町にお越しいただく方を増やしていきたいと私は思いますので、よろしくお願い致します。

終わります。

○石垣委員長 以上で14番細矢誓子委員の質疑を終わります。

次に、「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 よろしく申し上げます。

90、91ページ、7款1項1目の説明の5番、企業版ふるさと納税寄附事業費についてです。こちらの募集方法についてまずお聞かせくだ

さい。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 7款1項1目商工総務費の企業版ふるさと納税寄附事業の周知方法ということでございますが、予算に計上しております印刷製本費ということで、14万8,000円計上させていただいておりますが、こちらのほうは、企業版ふるさと納税河北町バージョンのパンフレットを制作する予定でございます。なお、ほかにはホームページ等で周知を図ってまいりたいというふうに思っております。

あと、その下にあります手数料でございますが、これはいわゆる民間企業からの紹介いただいた分での手数料を見込んでおるところであります。これまでいろいろとお話を頂戴している金融機関さん等に周知を図って、より多くの企業版ふるさと納税をしていただけるように努めてまいりたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 パンフレットを作成するということだったんですけれども、こちらはどのように配布を計画されているのでしょうか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 このパンフレットにつきましては、先ほど申しあげました金融機関等々に、河北町のバージョンとしていわゆる関連顧客、事業者さんのほうに配っていただくという周知方法を考えておるところであります。

○石垣委員長 「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 企業というのは、基本的に自分のところにメリットがないとなかなか動かない、そしてまた日々忙しいというところで、金融機関さんに置かせていただいても、なかなかそれを取っていただくというのは難しいというふうに考えているので、金融機関さんと、その配布の仕方についてぜひ協議していただ

きたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○石垣委員長 「軽部商工観光課長」

○軽部商工観光課長 仮に金融機関と申し上げましたけれども、金融機関さんのほうには、より多く周知をいただくように、こちらのほうからお願いしてまいりたいというふうに考えております。

○石垣委員長 「3番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 周辺の市町村では、既にこの企業版のふるさと納税について募集に力を入れておりまして、例えばですけれども、中山町では電話や郵送で各企業に送ったり、あとは西川町ですと入札に來られた企業さんに町長が直接募集をするんですね。そこまでしろとは言わないんですけれども、費用対効果を考えた上での募集をしていただければなと思っております。河北町のほうでもぜひ頑張っていただければと思います。

以上です。

○石垣委員長 ここで委員長からお諮りします。

本日はこれをもって延会としたいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会とします。

明日、3月13日は午前9時までにご参集願います。

お疲れさまでした。

午後2時48分 延 会

